

近思錄示蒙句解

拾貳 拾之

口 13
1907
9



日七四一
1909
9

一
行
ア
リ
ソ
ド

近思錄示蒙句解卷之十 凡六十四條

政事類

スデニ治道ニ明ニノ治法ニ通ズル時ハ則受ル所ノ官職ニ隨テ以テ政事ニ施スヘシコノ故ニ此卷ヲ以テコレニ次ク凡ソ官ニ居テ職ヲ任ジ上ニ事ヘ下ヲ撫テ同僚ニミシハリ賢オラエラブノ類ニナコハニ具ハレリ

伊川先生上疏曰コレ哲宗ノ時大皇太后ニタテマツレル書ナリ夫鐘怒而

擊之則武悲而擊之則哀誠意之感而入

也告於人亦如是古人所以齋戒而告君

也鐘怒而擊之ニ句ハ孔子ノ家語ニ出タリコレ人ノ誠意感メ鐘ニ入ル故ナリ人ニ告ルモ亦カクノ如シ蓋シ人情ノ誠ハ金石ヲシモヨク感動ス

況ヤ人ニライテヲヤコノ故ニ古人君ニ物マウサントスル時ハ必アラカシメ齋戒ス臣前後兩得進講



近思錄示蒙句解卷之十 政事類

未嘗敢不宿齋預戒潛思存誠覬感動於

上心進講トハ上ノ前ヘス、ミナイリテ經ヲ講ズルトナリ宿モ預モミ

若使營營於職事紛紛其思慮待至上前

然後善其辭說徒以頰舌古感人不亦淺乎

營々ハ往來シケキ見紛々ハ、ギラハレキゾ頰舌ハホ、シタナリ徒ニ口

伊川答人示奏藁書云或人伊川ニ奏狀ノ牒藁ヲ見せテ

專以畏亂為主願欲公以愛民為先力言

觀公之意奏狀ノ趣キ財ヲタクハヘテ以テ兵ヲツナヘ亂ノオコ

百姓饑且死丐朝廷哀憐因懼將為寇亂

可也哀憐ハアハレミナリ公民ヲ愛スル意ヲ以テ先トメ、マツトメテ

不惟告君之體當如ヨリテ又百姓困窮ニセマラハ寇賊逆

是事勢亦宜爾亂ヲセン懼レアリトイハバ可ナラントゾ

公方求財以活人祈ベシレカノミナラス今日天下ノ事勢

之以仁愛則當輕財而重民懼之以利害

則將恃財以自保公ハ財ヲ以テ人ヲイカサントラ求レドコ

ヲ以テ世ハ君反テ財ヲ輕ク見テ民ヲ重ク見ルベシモシ君ヲオドスニ逆亂

保多シトスルノミナリベシトナリ。古之時得兵民則得天下。コレ孟子
民而為天子ト云ニヨリテイヘリ。兵民トハ田野ノ民ヲ云至リテ微賤ナル者
トイヘ。臣君ノ仁愛コレニ及ヒテソノ上ヲシタシム心ヲ得ル時ハ。天下ノ人
ミナコレニ歸ス。後世以兵制民以財聚衆聚財
ルヲ得ルナリ。者能守保民者為迂。以兵制民トハ制ハ制服ナリ。兵ヲソナ
ナカラシムトゾ。以財聚衆ハ衆ハ軍兵ヲサス。財ヲタクハヘテ。以テ兵ヲヤ
シナヒラクヲ云コレニヨリテ。財ヲ聚ル者ヲハ。ヨク國家ヲ守ル者ナリト
云。然ノ民ヲ愛メ保護スル者ヲハ。反テ迂濶ナリト云。迂ハト
ヲキズ人情ニトラザカリテ。眼前ノ用ヲナサバ。ルトナリ。惟當以
誠意感動觀其有不忍之心而已。コレ或人ニ答
リ。奏狀ノ趣。只誠意ヲ以テ君ヲ感動メソノ人ヲソコナ
フニ忍ビサル心アラシトナリ。コヒ子カフベシトナリ。

明道為邑

此章ハ伊川先生門人ニ答ル書簡ノ中ニ見エタリ。為邑トハ。知縣事トシテ邑ノ奉行トナレル時ノ事ナリ。

民之事多衆人所謂法所拘者然為之未

嘗大戾於法衆亦不甚駭。衆人トハ世ノツ子ノ奉行人

及シテハ世ノ人ノセマク欲スレ。法ニ拘ハリテエセスト云。多キヲ明道

コレヲスルニハ。必シモ法ニ拘ハラズ。事ノ宜キニ隨テ處置ス。サレレ。亦イマ

モ亦コレヲ甚オドロキアヤシムニ至ラズ。謂之得伸其志則

不可求小補則過今之為政者遠矣。明道ノ所

民事ニライテ。大イニ其志ヲ伸ルヲ得トイハ。不可ナリ。サレレ。小
キ補ヒアルヲ求メバ。則今ノ世ノ政ヲスル者ニスクレタルヲ遠
人
雖異之不至指為狂也至謂之狂則大駭

行思録句解卷下

矣

コレ又初段ノ意ヲカサヌ。明道ノスル所。人コレヲアヤシム。アリトイヘ。亦狂妄ノ人トサシ云ニ至ラス。モレ人コレヲ狂ト云ニ至ラバ。コレ則大イニ駭ク。盡誠爲之不容而後去。又何嫌乎。

ト云者ナリ。コレ伊川明道ノ志ヲ推シハカリテイヘル歟。然ラスハ。明道自ノ志ヲノヘラレタル語ナルベシ。凡ソ政ヲスルニハ。只ワガ心ノ誠ヲツクメスルノ外ナシ。モレ君權ニユルレイラレズバ。其時ニ至リテ後ニ官ヲ辭シ去ルバ。ナリ。然ラハ更ニ又何ノウタガヒアヤブム所アリテ。セマク欲スルヲセザヤト。

○

明道先生曰。一命之士。苟存心於愛物。於入必有所濟。一命ノ士。ソノ義前ニ見エタリ。物トハ。人ヲ云。濟トハ。一ナリトイヘ。モレ物ヲ愛スル心ヲ存メ失ハザル時ハ。人ニツイテも必濟ス所ノ效アリ。况ヤ重職ヲ任スル人ノ上ラヤ。

○

伊川先生曰。君子觀天水違行之象。知人情有爭訟之道。故凡所作事。必謀其始。絶訟端於事之始。則訟無由生矣。

也。君子以作事謀始ト云ノ傳ナリ。此卦下ハ坎ニノ水ナリ。上ハ乾ニノ天ナリ。天氣ハノホリ。水流ハクダリテ。相違ヒユク。コレ人情相モトリテ。訟アルノ象ナリ。ヨリテ卦ヲ訟ト名ヅク。君子人ニ争ヒ訟ル道アルヲ知テ。コノ故ニ。凡ソ事ヲナスニハ。必ツノ始ヲ謀リテ。訟ノ端ヲ事ノ始ニタツ。則訟ノワガ由リテ生ズ。謀始之義廣矣。若慎交結。明契券之類。是也。

類是也。交結トハ。人トハ。ヒメテ交リテ結ブ。契券トハ。契約ノ證ナリ。師之九二。一爲師之主。コレ易ノ師卦ノ九二。一在師中。言无咎ト云ノ傳ナリ。此卦只九二。一交陽ニ。諸

行思録可解卷十

陰三ナコレニ歸ス下ニアリテ制令ヲホシイマニ多手金を奉る恃專則失為失スル者ナルニヨリテ太將トメ師ニ主タル象アリ

下之道不專則無成功之理故得中為吉

大將ハ制ヲ專ニスルヲ得レバトテコレヲ恃ニスレバ下タルノ道ヲ失フ亦專ニセザレバ功ヲナスヘキ道理ナシコノ故ニソノ中道ヲ得ルヲ以テ吉

ナリトス九ニハ剛ニソ中ナリコヲ以テ吉ニシテ答ナシ凡師之道威和並至則吉

也コレ明ニ九ニ剛中ニシテ吉ナルノ意ヲトク凡フ師ニ主タルノ道威アル

心モテアソンデユルコノ故ニ威ト和トナラビニ至レル時ハ則中ニ吉ナリ

世儒有論魯祀周公以天子禮樂以為周

公能為人臣不能為之功則可用人臣不

得用之禮樂是知人臣之道也世儒ハ世間ノ儒者ナリ成王

天子ノ礼樂ヲ魯ニタマハリ伯禽コレヲウケ事礼記ノ明堂位ニ見エタ夫

居周公之位則為周公事由其位而能為

者皆所當為也周公乃盡其職耳人臣其位ノ職

ラルベキホトノ事ハミナセテカナハザルナリ周公ノ大功トイヘ凡

亦只其職ヲソクセルバカリナリ一ツモ分外ノ功ヲナシ玉フニアラス

大有之九三曰公用亨于天子小人弗克

大有トハ物盛大ニノ豊ニ有ルノ時ヲ云公ハ諸侯ナリ此卦乾下

離上九ニ下体ノ上ニアリ諸侯人君ノ象ナリ餘ハ下ニ見エタリ傳曰

三當大有之時居諸侯之位有其富盛必

用亨通于天子。謂以其有為天子之有也。

乃人臣之常義也。諸侯未有之。富盛于其所者。若比。朝覲ヲツトメ。貢物ヲタテマ。

其富有以為私。不知公已奉上之道。故曰。

小人弗克也。公已奉上。ハ。ラノカ有ル所。

人心所從多所親愛者也。コレ場ノ隨卦ノ初九ノ傳ナリ。本文トニ見エタリ。凡ソ人

其是惡之則見其非。コレヲ愛スル時ハ。ソノ是ナル處ノミ見エ。コレヲ惡ム時ハ。ソノ非ナル處ノミ

常人之情愛之則見

其是惡之則見其非。コレヲ愛スル時ハ。ソノ是ナル處ノミ見エ。コレヲ惡ム時ハ。ソノ非ナル處ノミ

故妻孥之言雖失而多從。所憎之

言雖善為惡也。妻孥ハ妻子ナリ。失ス。トハ。理ヲトリ失フゾ。

苟以親愛而

隨之。則是私情所與。豈合正理。故隨之初

九出門而交。則有功也。出門トハ。家内ノ私情ヲハナレテ。ト云儀言ナリ。云意ハ。人ヨク私情

隨九五之象曰。孚于嘉。吉。位正中

也。九五尊位ニ居リ。正

傳曰。隨以得

中為善。凡ソ物ニシタガフハ。中道ヲ得ルヲ以テヨレトス。コレ本文ノ正義ナリ。

近思錄句解卷十

過也蓋心所悅隨則不知其過矣ソレ隨フ所ノ事イマシメテ

フセグベキハ其スグル所ナリ此對下ハ震ニメ動ク上ハ兌ニノ悅ブ悅テ動ク時ハ自ソノ過ルヲ知ラズ然ルニ九五ハ中ヲ得テスキザル及ニヨリトスルナリ

坎之六四曰樽酒簋贰用缶納約自牖終

無咎薄ハタル簋ハ飯ヲモル者缶ハ瓦ヤキノ器納ルハス、ムル義約ハムスブ義ナリ牖ハ室ノ旁ヨリテカカリフトル處ナリ人臣君ノ信任

ヲ求ルニハ質ニノ實アルベシ浮キテ飾ルベカラズソレ儀文華飾ノ盛ナルヲ燕享ノ礼ニシクフナシ然リニ只一樽ノ酒二簋ノ飯ニ及瓦缶ヲ以テ器トスソノ質實ノ至レル心カクノ如ク而ノ言ラス、メテ君ニトリムスブニハソノ明ナル處ヨリメキ、ウケヤスカラシムコレソノノイニトカメナキ所以傳曰此言人臣以忠信善道結於君心

必自其所明處乃能入也忠信善道トハ即一樽二簋ニ納約自牖スルノ義ナリ

人心有所蔽有所通通者明處也

當就其明處而告之求信則易也故云納

約自牖能如是則雖艱險之時終得無咎

也此ヨリ下ハ又納約自牖スルノ意ヲ詳ニトク艱險トハ艱難危險ニメスギガタクテヤウキ時ヲ云且如石心

蔽於荒樂唯其蔽也故爾雖力詆其荒樂

之非如其不省何必於所不蔽之事推而

及之則能悟其心矣荒樂トハ遊樂ニ心ノスサニアル、ノヲ云故トハフルクヒサレキ義ナリ久

ク蔽ヒフサガリタルノ故ニ。ツトメテ其非ヲフレリイサムレ也。其目ノサメ
ゲルヲイカンレシガタシ。ヨリテ必ツノフサガラズ。明ナル處ヨリ。トリ入
リテ。ヤウヤクニ其フサガレル處ニ。ラレ
及ブ時ハ。則ヨク其心ヲサトサル。ナリ。 自古能諫其君者。

未有不因其所明者也。故託直強勁者。率
多取忤而溫厚明辨者。其說多行。託直トハ。人ノ
ハキ出シテ。スグサマニ云フナリ。強勁トハ。ツヨクコハ。ル義ナリ。氣象温ニ
厚ク。道理明ニ辨レル者ハ。約ヲ納ル。ノ。牖ヨリスル。フヲヨクスルニヨリテ。
其說多ク
用ヒ行ハル。非唯告於君者如此。為教者亦然。夫

教必就人之所長。所長者。心之所明也。從
其心之所明而入。然後推及其餘。孟子所

謂成德達才是也。成德達才トハ。夫子ソノ門人ヲ教ルニ。カク
フル者ハ。其徳ヲ成就ス。資實ノ明敏ナル者ハ。其才ヲ達
達ス。コレミナ其長ズル所ニヨリテ。コレヲ成スナリ。

恒之初六曰浚恒貞凶。象曰浚恒之凶始求深也。傳曰
一貞固ニノカタキ
ハ凶ニアラノ道ナリ。 象曰浚恒之凶始求深也。傳曰

初六居下而四為正應。四以剛居高。又為
二二三所隔。應初之志。異乎常矣。而初乃求

望之深。是知常而不知變也。下トハ上ニ事ル。忠勤
正直ナルヲ。上タル人コ

レヲ信用スルハ。理ノ常ナリ。然ルニ此卦下ハ巽ニ。上ハ震ナリ。初六ハモト
柔暗ノ人。下位ニ居リ。事ノ始ニ。上ニ交ル。ナラ。浚。九四ハ正應ナリ。トイ

一凡其性剛陽ニモ高位ニ居リ志タカアリテクダラズ又九ニ至三ノ二陽ニヘダテラレ下ノ情通シガタキニヨリテ初六ニ應スルノ志常ノ交リニ異ナリ然ルニ初六忠直ナリトイヘ凡其勢ヲハカラス上ノ信用ヲ求メ望ム深シコシ常ヲ知テ也ヲ知ラズコトヲ以テ悔アルニ至ルナリ世之責望故素而至悔咎者皆浚恒者也

遯之九三曰係遯有疾厲ハ速ニノ遯キラ以テヨシトス係遯トハノガルニアタリテカ畜臣妾吉傳曰係戀之私恩懷小人女子之道ハ速ニノ遯キラ以テヨシトス係遯トハノガルニアタリテカ

也故以畜養臣妾則吉

一凡其性剛陽ニモ高位ニ居リ志タカアリテクダラズ又九ニ至三ノ二陽ニヘダテラレ下ノ情通シガタキニヨリテ初六ニ應スルノ志常ノ交リニ異ナリ然ルニ初六忠直ナリトイヘ凡其勢ヲハカラス上ノ信用ヲ求メ望ム深シコシ常ヲ知テ也ヲ知ラズコトヲ以テ悔アルニ至ルナリ世之責望故素而至悔咎者皆浚恒者也

事ニライテハ衆ニソムクトイヘ不能大同者亂常拂理

之人也。綱常ヲ亂リ道理ニモトル小人ナリ。不能獨異者隨俗習非

之人也。世俗ト共ニナビキシタガヒ非義ナル事モナラヒ来リテ自サトラザル危夫ナリ。要在同而

能異耳。君子ハ只理ニシタガフハカリナリ。ソノ大要大イニ同キウチニライテヨクヒトリ異ナレ所ニアリ。

睽之初九當睽之時雖同德者相與然小

人垂異者至衆若棄絶之不幾盡天下以

仇君子乎。コレ睽卦ノ初九ニ見惡人无咎ト云ノ傳ナリ。同德者トハ此卦下兌上離ニノ初九ト九四ト共ニ陽爻相應スルヲ云

リテ同徳ノタノムベキ者相與スルノリトイヘ也。其外ハミナ小人ニモ垂キ

異ナル者至リテ多シ。モレ全クコレラステタ、バ天下ノ小人ヲツクシテ以テ君子ニ仇ヲナスニチカキゾ。如此則失合

弘之義致凶咎之道也又安能化不善而

使之合乎。含ハフクミイル、義弘ハヒロクユタカナリ。是亦君子ノ徳ナリ。君子全ク小人ヲ棄絶ハ含強ノ義ヲ失ヒテ凶咎ヲ

致スノ道ナリ。又何ゾヨク不善ノ人ヲ化シ善類トナシ君子ニ心ヲ合サシムルヲ得ンヤ。故必見惡人則

無咎也。見ト公ユキアヒテ絶ツフナキノ詞ナリ。必コレニアハマク欲スルニアラス。古之聖王所

以能化女姦凶爲善良革仇敵爲臣民者由

弗絶也。姦凶ハカダミシクアシキ者ヲ云。仇敵ハアタカタキナリ。小人

ヲ糞スルニヨリテヨクカクノ如シ。路ヲ開キ善ニ從フノ機

○睽之九二當睽之時君心未合賢臣在下

○竭力盡誠期使之信合而已

ト公委曲ニノイリマハリタル路ナリ九二ハ賢臣六五ハ正應ノ主君ナリ然レ正睽違ノ時ナルニヨリテ君ノ心臣下ヲウタガヒソムク所アリテイマダ相合ハス此時九二尺身カラツク誠心ヲツクシ君至誠以感動

之盡力以扶持之明義理以致其知杜蔽

惑以誠其意如是宛轉以求其合也

ウケテ本文ノ正義ヲ釋ス扶持トハタスケタモツナリ蔽惑トハオホハレマドフナリ宛轉トハマカリマハル義即亦委曲ノ意ナリ此時九二已ニライテ公至誠ニ名以テ君ノ心ヲ感動シカラツクシテ以テ君ノ身ヲ扶持シ君ニシイテハソノ義理ヲ明ニ名以テ其知ヲ致シ蔽惑ヲフサキテ以テ其意ヲ誠ニ

○遇非枉道逢迎也

○僻由徑也故象曰遇主于巷未失道也

テ相アフ義ナリ邪僻ハヨコシマニヒカメルナリ徑ハチカミチナリ蓋シ遇トハユキアフ義ナリ道理ヲマゲテムカヘトルニアラス巷ハ委曲ニノタバチナラスマハリク子リテユク路ナリ邪僻ノヲラメチカミチヨリカハルニアラスコノ故ニ象ニ云ク遇主于巷未失道也トソレ委曲ニノ遇フハ正道ナラサルニ似タレ正此時ニアタリテカクノ如クスルハ必シモ道ヲ失フニアラストゾ非邪僻由徑ト云ヲ一本ニ

○損之九二曰弗損益之傳曰不自損其剛

○貞則能益其上乃益之也

テイフチニ益スニシテ人臣タル者ソノ剛正貞固ノ貞則能益其上乃益之也

カリラツレラル、時ハ。若失其剛貞而用柔說適足

以損之而已。柔說ハヤハラカニヨロコバシキゾ。只柔悦ノ態ヲ以

ク以テコレヲ損。世之愚者有雖無邪心而惟知

竭力順上為忠者蓋不知弗損益之之義

也。順上ハ君ノ心ニナリ。ヒキレタメカフナリ。

益之初九曰利用為大作元吉无咎。大作ト云

義ナリ。元ハ大。象曰元吉無咎下不厚事也。厚事ハ即

ナリ。傳曰在下者本不當處厚事厚事重大

之事也以為在上所任所以當大事必能

濟大事而致元吉乃為無咎。人臣ノ下ニアル其分際

ハスサレ上ニ在ル人ノ任セララルヲ以テ大事ニ當ルヲアリステニ大事

ヲ任スル上ハ必ヨクソノ大事ヲ濟シ大善ノ吉ナル功ヲ致メ然メ後ニ乃咎

ナキヲ得ルナリ。能致元吉則在上者任之為知人已

當之為勝任不然則上下皆有咎也。勝任トハ

ヲニナヒアグル義ナリ。蓋シ非常ノ任ニアタル者ハ必非常ノ功ヲナシテ後

ニ咎ラマヌカル、ヲ得ルナリ。然ラザレバコレヲサツクル者ラニヲ任ス

ル者共ニ咎アル

革而無其甚益猶可悔也况反害乎。古人所

以重改作也。コレ易ノ革卦ノ彖ニ革而當其悔乃七ト云ノ意ニヨクセガルナリ。

漸之九三曰利禦寇。禦ハ止ル義ナリ。寇トハ寇賊ノミナラス。九ノ非理ニノ來ル者皆コレナリ。

傳曰君子之與小人比也。自守以正豈唯

君子自完其已而已乎。亦使小人得不陷

於非義。比ストハカタヲナラベテ居ル義ナリ。君子正道ヲ以テ自守ル時ハ只己ガ身ヲ完クスルノミナラス。亦小人ヲノ君子ヲ害ス

也。コレ此爻ノ象ニ利用禦寇。順相保也ト云義ニヨリテイヘリ。君子類共ニ順道ヲ以テ相保チテ小人ノ惡ヲフセギ止ムトナリ。

是以順道相保禦止其惡

○旅之初六曰旅瑣瑣斯其所取災。瑣々トハ細キ義ナリ。

傳曰志卑之人既處旅困鄙猥瑣細無所

不至乃其所以致悔辱取災咎也。志卑之人トハ初六ノ陰柔ニ

ノ卑賤ノ地ニアルヲ云。旅困トハ因ハグルシムナリ。外ニ出テ旅人トナリ。

疎遠ノ人ニミジハリテタノミスクナキヲ云。鄙猥ハイヤシキ義ナリ。瑣細トハスコレキ利害ヲアラソフノ類ヲ云。悔辱トハクヤレクハズカシキ

○在旅而過剛自高致困災之道也。コレ旅卦ノ九

及剛陽ニ中ナラス。下体ノ上ニアルヲ以テ。剛ニ過キ自高スルノ象アレハ

ナリ。蓋シ旅ニアル時ハ柔順謙退ヲ以テ先トス。モシ過剛ニノアラケレバ。和

行息録

日未大

兌之上六曰引兌象曰未光也傳曰說既極矣又引而長之雖說之之心不已而事理已過實無所說事之盛則有光輝既極而強引之長其無意味甚矣豈有光也此兌上ニアルヲ以テ悦ステニ極ルノ象トス然ルニ其悦ヲヒキノバシテコレヲ悦ブベキ所ナレ九ノ事盛ナル時ハ光リ輝キアリステニ極レルヲ又レ并テコレヲノベマス時ハソノ意味サメテナキト甚シナンゾ光ルコトアラシヤ

中孚之象曰君子以議獄緩死傳曰君子

之於議獄盡其忠而已於決死極於惻而

已獄訟ハ民ノ利害死生ノカ、レル所ナリコノ故ニ君子獄ヲ考ヘ議

天下之事無所不盡其忠而議獄緩死最

其大者也君子天下ノ事ニツイテ忠誠ヲツクサスト云テナラシ

事有時而當過所以從宜然豈可甚過也

如過恭過哀過儉大過則不可所以小過

近思錄句解卷下

十四

為順乎宜也能順乎宜所以大吉コレ易卦小過ノ象ニ不宜上

宜下大吉上逆而下順也ト云ノ傳ニ太象ノ行過乎恭喪過乎哀用過乎儉ト云

フカ故ナリ然レモ甚スグルハ亦不可ナリ行ヲ修ルニ恭キニスキ喪ヲ執ル

ニスグル時ハ則恭ハ足恭ナリ哀ハ毀瘠ナリ儉ハ文盡ナリコレハ皆非ナリ

防小人之道正己為先コレ亦小過ノ九三ニ弗過防之從或戕之凶ナリト云ノ傳ナリ而ノ

君子ノ小人ヲ防グニハ己ガ身ヲ正クスルヲ以テ先トス蓋シ人ヨク己

ヲ正クスル時ハ小人ヲカスベキスキマナシ又ハバカリテ自トラサカルナリ

周公至公不私進退以道無利欲之蔽周公

其處已也藁ノレトスララシラ

藁然存恭畏之心其存誠也蕩蕩然無顧

慮之意所以雖在危疑之地而不失其聖

也藁々公戒メ謹ミテヘリクダリ一タガヘル見ナリ蕩々ハ明白ニノ坦平ナル義ナリ其身ヲ處置スルノ常ニ藁々然トモ恭レク畏レアル心ヲ存

其心ニ誠實ヲ存メ自信スルノ篤キヲ以テ事ヲ行フニ蕩々然トモ左右ヲ顧ミ前後ヲ慮ル意ナシコノ故ニ流言ニアヒテ危フニ疑フベキ地ニアリト

詩曰公イヘヒステニイナリモトリテ常ヲ改メス亦ラソレハハミテ守リヲ失ハスコレソノツイニ聖徳ヲ失ハザル所以ナリ

孫碩膚赤舄凡凡コレ詩ノ豳風狼跋ノ篇ノ詞ナリ碩ハ大膚ハ美ナリ赤舄ハ赤履ノクツナリ凡々公進

退ノ安シキ重々シキ見ナリ周公大イニ美キ功德アリトイヘヒコレヲユヅ

リサケテホコル意ナシ其容儀進退ノアリサニ恭順ニノ安ニシヤカナル

採察求訪使臣之大務コレ詩ノ小雅皇々者華ノ篇ノ説ナリ古ハ天子使ヲ四方ニツカハ

レテ諸國ノ風俗ヲ見テ民ノ善惡ヲ採り察ハ疾ヘ苦ミヲ求メ訪ヒ道化ヲ天下ニノベシカシムコレ使ヲ奉ル臣ノ大イナル務メナリ

明道先生與吳師禮談介甫之學錯處介甫

辨公ガ字ナリ師礼ト共ニノノ學術ノアヤミレル處ヲ談論ス 謂師禮曰爲我盡達諸

介甫我亦未敢自以爲是如有說願往復

ワカタメニ此談論ヲ以テ盡ク介甫ニ告ケ達セヨ我モ亦イマダ敢テ自コレヲ是ナリトセスモシカレ異議ノ説アラバ願クハ両方ノ間ニ往復シ我ニモ

告ケ此天下公理無彼我果能明辨不有益

于介甫則必有益于我此論スル所コレ天下公共ノ道也

ソノ是非ヲ明辨スルコトアリテ介甫非ナラバ其非ヲキ、テ介甫ニ益アラシモシ我非ニモ其非ヲキカバ則必我ニ益アラントゾコレ先生ノ忠誠懇至ニ

ノ詞氣和平ナルヲ見ツベシ世ノ弊々トイブリニモ人ヲホシイマニソシリ自勝ヲ好ム者ノヨク及フベキ所ナラシヨ

天祺在司竹常愛用一卒長司竹公司竹監ナリ竹ヤ

張天祺此職ニアリし時ツ子ニ愛ノ用ヒケル卒長 及將代自見

一人アリ卒ハ官制ノ役者長ハソノカシラナリ 其人盜筍皮遂治之無少貸天祺ソノ奉行職ヲ代リ

カノ卒長ノ筍ノ皮ヌスメルヲ見ツテツイニ罰ヲアタヘテ其罪 罪已

正待之復如初略不介意其德量如此德量

其德ノウケイル、分量ヲ云卒長ガ罪ステニ治メテ正セル後ハ又コレヲ待

愛惡ニウツサレザルカク
ノ如シコレ程子極美ノ語アリ

因論口將言而囁嚅云
囁嚅トハモノイハントスレバハ
バカリテイヒカヌル免ナリコレ

程子人ノカクノ如クナルヲ論ズ
ルニヨリテイヘル下丈ノゴトシ
若合開口時要他頭

須開口
コヒモトムルトイフ也
如荆軻於

樊於期
荆軻熱ニタノミレテ秦ノ始皇ヲ殺サンタメニ樊於期ニ對シテ
ソノイヒガタキヲヨク
イヒタルタメニヒケリ

須是聽其言也厲
本文論語ニ出
テリ厲トハ剛

剛決断ノ義ナリ蓋シ理明ニ義直クメ内ニ足ラザル所ナキ者ハ其モノ云フ
テノヅカラ剛決ニメタハミマガルナシ言語ノニテ公コレヲツクリ出
ス一ア
タハス

須是就事上學
學者亦直ニ事為ノ上ニ就キテ
蠱振民

育德然有所知後方能如此何必讀書然

後為學
易ノ蠱卦ノ大象ニ云ク君子以振民育德蠱ハ事ナリ天下ニコソ
ル所コレヨノ大イナル者トキニヨリテイヘリ然レバ君子必マツ其スベテ
知テ後ニハジメテコレヲヨクス可ゾ必シモ書ヲ讀テ然ノ後ニコレノミヲ
學ブトトス
ベケンヤト

先生見一學者忙迫問其故
忙迫トハイソカハレク
セハノニキ義ナリ

曰欲了幾處人事
幾トハカズ多キヲ云詞ナリ了ストハラフ
ルナリ俗ニラチアクルト云カ如シアマタ
慶ノ人事ヲ了セマク欲ス
ルニヨリテカクノ如シト

曰其非不欲周旋人事者

近思錄句解卷下

十七

曷嘗似賢急迫

周旋トハ事ヲトリマハス義ナリ。我モ人事ヲイ
トヒテ。トリマハスヲ欲セサル者ニアラス。サ
レドナンツブレノ如クニ急迫ナルヲアリヤト。蓋シ事多シトイヘドコレヲ
スルニハ必ツノ次第アリ。事急ナリトイヘド。コレヲスルニハ必ツノ節度ア
リ。何事モインガハレクアカラサマ
ニテハコレヲオホスル道ナシ。

安定之門人往往知稽古愛民矣則於為

政也何有

安定胡先生學校ニテ人ヲ教ルノ法。經義齋ヲタテ。經術
ニ通ゼシメ。治事齋ヲタテ。時務ヲ治メシムヨリテ其門
人古ヲ稽ヘ民ヲ愛スル方ヲ知レル者多シ。コレ体ヲ明ニ用ニ達
スルノ才ナリ。然レバソノ政ヲスルニラケル。何ノ難イカアラニ。

門人有曰吾與人居視其有過而不告則

於心有所不安告之而人不受則奈何

ノ交リヲ論ス。人ノ過ヲ見テツゲザル時ハ心ニ安ンセズ。サレドツゲテ
用ヒラレザル時ハ亦悔アルヲ免レズ。此處イカントカ處置スベキゾト。曰

與之處而不告其過非忠也。要使誠意之

交通在於未言之前則言出而人信矣

又曰責善之道要使誠有餘而言

不足則於人有益而在我者無自辱矣

互ニ善ヲセメス。ムルノ道誠意アリアリテ。言説タラサラシムベシ。然ラ
バ。則其云所必用ヒラレテ。人ニヲイテモ過ヲ改ルノ益アリ。我ニヲイテモ。イ
サメヲ信セラシズ。自辱
メヲトルノ悔ヒナカルヘシ。

職事不可巧免

ウケタル官職ノ事務ヲ或ハ其勞ヲハフキ。或ハワカ便ニシタカハントメ。法令ニタガ

フ所ヲ巧ニシツラヒテ。其トカメヲ免カレトスベカラズ。或ハ私ナラズトイヘ。亦コレ君ヲ欺クノ不忠ナリ。

居是邦不非其大夫。此理最好

本文ハ荀子ニ出タリ。是邦トハ只ツノ

居ル所ノ邦ヲサス。大夫ハ國政ニアヅカル者ナリ。下トメ政ヲスル人ヲツラザルハ。上ヲ敬フノツ子。法ヲ守ルノツ子。禮ヲ免ル。ノ道ナリ。ヨリテ此道理ヲ最ヨシトス。大夫ヲシモナラ然リ況ヤ其君ニライテヤ。

克勤小物最難

小物トハ細事ヲ云。人オホム子細事ヲ見アテトル。反テ太事ヨリモ難シトス。蓋シ事ニハ大小アリトイヘ。理ニハ大小ナシ。細事ヲ行フトイヘ。心ノハタラク所ハ全体ナリ。コノ故ニ細事ニヲコタル者ハ必大事ヲモ誤ルナリ。

欲當大任須是篤實

大イナル職任ニウケアタラントスル者。ソノ心ヲ説ル。篤クノ輕淺ナラズ。實ニノ虚浮ナラガレベシ。篤クノ實ナル時ハ。刀量深ク厚ク

凡為人言者理勝則事明

凡フ人ノタメニモノ云フ。義理ノ心血氣ニ勝ツ時ハ。則氣

氣忿則招拂

其理直シトイヘ。イカ反テ拂リサカフウレヘ。招キトルナリ。

居今之時不安今之法。令非義也

下位一アル者。今ノ法令ニ安

若論為治不為則已如復為之須

於今之法度内。處得其當方為合義

スル道ヲ論セバ。コレヲセザルハ。セザルニテヤン又ベシ。モシ又コレヲスル
カラハ。則今ノ法度ノ内ニツイテ。ソノ宜キニ當レル所ヲ慶置レ得テ後ニ方
ニ官ヲ守ルノ義ニ合ヘリトス。若須更改而後爲則何義之有モシ
更メカヘテノ後ヲマキテコ
レヲセバ。則義トスベキ所ナシ。

今之監司多不與州縣一體。監司專欲伺

察州縣州縣專欲掩蔽不若推誠心與之

共治此章ハ監司ノ職ヲ論ス。監司ハ監察使。所々ヲ巡檢スル者ナリ。州縣

ハ知州事知縣事ヲ云。一州一縣ノ奉行ナリ。今ノ監司多クハ州縣ト
心ヲ合せて一體ナラス。ヨリテ監司ハ專州縣ノ非ヲ伺ヒ察ハサマク欲ス。州
縣ハ專ワガ非ヲ掩ヒカクサマク欲ス。彼此其職コトナリトイヘ。同クコレ
君ノ政ナレバ。監司タル者。誠心ヲ推シ及ホ
レテ。州縣ト共ニ治メンニハシカザルナリ。有所不逮可教者

教之可督者督之至于不聽擇其甚者去

一一使足以警衆可也州縣ノ所爲オヨハザル所アル時

ソノ督スベキハコレヲ督シテ。督セズカガザル時ハ。其中ノ甚キ者一人
人ヲ擇リ出シ。ソノキステ。以テ自餘ノ諸奉行ヲ警シ戒ムルニ足ラシメン
ナリ。

伊川先生曰人惡多事或人憫之世ノ人善ノ多

ニモ。或人コレヲイタミ
ウレフルニ至ル者アリ。世事雖多盡是人事人事不

教人做更責誰做世事多シトイヘ。世盡クコレ人ノオスベキ
事ナリ。人ノ事ニ。人ニナサシメズハ。タレ

ヲセメテカナサシ。シト。蓋シ事ヲイトフノ意アリ。コレ一應スル時ハ。必
ソノ理ヲワクス。アタハス。事ヲイトフノ意アルハ。コレワカナスベキ。當然

ノ事ヲ皆身ニカ、リテノガル
ル所ナキ者ト。知ラザルガ故ナリ。

感慨殺身者易從容就義者難
從容トモユルクニ
ツカナル義ナリ。下

時ノ感ニ慨ノ事ノタメニ。フリタテ身ヲ殺ス。ハ。衆人モコレヲヨクスル
者アリ。ユル。トノ義ニツキ。死ノモ悔ル意ナキ。ハ。理明ニ志定レル者ニ
アラザレハアタハズ。コノ故ニ。學者ハ平日義理
ヲ精クキハメ。志節ヲ堅ク守ルヲ以テ要トス。

人或勸先生以加禮近貴
近貴トハ君ニ近ク。カヘテ。
位貴キ者ヲ云。コレニ礼ヲ加

ヘテ。トリワキウヤマハ
ルベキ。トラス。メタリ。先生曰。何不見責以盡禮而
盡ストハソノ
不足ナル所ヲ

責之。以加禮禮盡則已豈有加也
盡ストハソノ
不足ナル所ヲ

ツクス。ツ。ステニツキタ。持ハソレミ。テ。ニ。テ。ヤ。ン。又。ヘ。シ。サ。ラ。ニ。又。加。ヘ。マ。ス。ト
アラ。ン。ヤ。ト。蓋。ニ。礼。ス。テ。ニ。足。レ。ル。ヲ。ナ。ラ。足。ラ。ス。ト。モ。ス。ギ。テ。加。ル。ヲ。バ。定。然。

云君ノ耻テ

セザル所ナリ。

或問簿佐令者也
簿ハ主簿ナリ。令ハ知縣事ヲ云。縣令ハ
一縣ノ長官ニモ。主簿ハソノ佐官ナリ。

所欲為令或不從奈何
主簿ノセニク欲スル所ヨケレバ
令モコレニ從ハスハイカセント。

曰當以誠意動之
動ハ感
動ナリ。

是爭私意
互ニ我執ノ私意ヲ
争フニヨリテトゾ。

令是邑之長若能以
モレ

事父兄之道事之過則歸已善則唯恐不
チタ。恐ル

歸於令積此誠意豈有不動得人
過アレハ已ニ
カケ善アレハ

令ニカケニク欲スル。人ヲヨロコバシメシタメニ。レバ。ラ。ク。コ。レ。ヲ。ス
ルニアラス。凡ソ下トメ長ニツカウルノ道。モトヨリカクノ如クナルベシ。

近思錄可解卷十

二十一



問人於議論多欲直己無含容之氣是氣

不平否人ト議論スル時ニ多クハ己カ意ヲノベテ勝タシラ求メ人ノ意ヲ含ミ容ルノ氣象ナシコレ氣ノイカリテ平ナラザルニ

曰固是氣不平亦是量狹量ハ度量ナリ心ノ

人量隨識長凡ソ人ノ度量ハ知識ノス、亦有人識高

而量不長者是識實未至也識ハスコブル高ケレバ

大凡別事人都強得惟識量ハ共ニ長セザル人ア

量不可強凡ソ人他ノ事ニライテハ、オカラ以テ強テ得ラルベシ、

今人有斗筲之量有釜斛之量有鍾鼎

之量有江河之量此ヨリ量ノ品ヲタトヘテ小ヨリ大ニイタ

江河之量亦大釜ハ六斗四升ライル斛ハ十斗ライル鐘ハ六斛

矣然有涯有涯亦有時而滿涯ハ三ギ惟天地

之量則無滿故聖人者天地之量也聖人

之量道也常人之有量者天資也天地ノ大イナ

天資有量須有限大抵六尺之軀力量只

如此雖欲不滿不可得也天資ノ量ハ大イナリトイヘ

凡ハ亦其限アリ蓋シ人ハ大抵

行思録同解卷下

三十二

亦尺ノ軀ナルニヨリテ。尺ムレツキノカ量ノ三八皆
ソノ限アリテ。限ニ滿タザラマク欲スレ。臣得ガタシ。如鄧艾位

三公年七十。處得甚好。及因下蜀有功。便

動了。鄧艾ハ魏人。三公漢ヨリ後ハ丞相太尉御史大夫ニシテ。鄧艾ハ魏ノ太

尉ナリ。年七十ニ及ビ。萬事ヲ處置シ得テ。甚好カリシカ。臣蜀ヲセメ

オトシテ後ニ。其功ニホコル意動キ出ヅ。コレ其量ニミツレバナリ。謝安聞謝玄破苻堅對

客圍碁報至不喜。及歸折屐齒強終不得也。晉ノ中書監謝安ソノ姪謝玄カ秦ノ苻堅トタ、カヒカチテウチヤブリ

也。ケルヲ報ゲ来ル。謝安オリフシ客ト碁ヲウチテ居ケルニ。ソノ報書ヲ

見テ喜フ色ヲ抑ヘテ見セス。心靜ニ碁ノ勝負ヲ終ヘタリ。サレバ内心ニハ甚

喜ベルニヨリテ。其居ニ歸レル間ニ。屐ノ齒ノオレタルヲオボエガリシナリ。

コレ亦其量ヲツイニ強キ。更如人大醉後益恭謹者。只

益恭謹。便是動了。雖與放肆者不同。其爲

酒所動一也。放肆ハホレイマ、ナルゾ。酒ニフカク醉タルヲ以テ

酒所動一也。ソ子ヨリモマスキカイツクロヒテ。恭シク謹ム者

アリ。コレソノ醉テ放肆ナル者トハコトナレド。酒氣ニ

動カサル、フハ一ツナリ。コレホソノ量ニミテナリ。又如貴公

子位益高。益卑謙。只是動了。雖與

驕傲者不同。其爲位所動一也。貴公子ハ貴人ノ子

退ナリ。驕傲ハラゴルナリ。然惟知道者。量自然宏大。不

勉強而成。知道者トハ學識ノ至レル者ヲ云。宏モ大ナリ。今人

近思錄句解卷十

三十三

ヒキ、義ナリ人ノ目ノツク所ノヒキ、モ他ノ故ニアラス。亦ソノ識ノ足ラザレバナリ。凡ソ人ノ見ル所ハ、識ニ隨フニヨリテ、見識ト云ナリ。

人纔有意於為公便是私心公ハコレ天理ノ自然ナル者ナリ。モレ意ヲツケ

昔有人典選其子弟係磨勘皆元公ヲスレバ、計較ノ私意ニオツ。安非ノ私意ニオツ。

不為理此乃是私心コレ公ヲスルニ意アルカ私ナル例ヲアグ。典選トハエラブヲツカサドル

人多言ナリ。吏部ノ職人ノ功勞フエラビカンガフルヲ云。磨勘ハミガキカンガフルナリ。年ゴトニカンゴヘミテ。四タビカンガフル時ニ、其官ヲ轉ジス、ムル

古時用直不避嫌得後世用此不得自是テラ云。昔ニアル人典選ノ其子弟ヲ磨勘ノ時ニアタレテ、嫌フ避ルヲ以テ、轉任ノ事ヲオサメヲコナハス。コレ乃私意ナリ。

無人豈是無時人多ク云。古ハ風俗スナホナル故ニ。事ヲ直ニ行ヒテ、嫌ヲ避ケザルヲ用ヒ得タリ。後世ハ人情

ウスクノ疑ヒ多キ故ニ、嫌疑セザルヲ用ヒ得スト。コレ然ラズ。只コレ心自然ニ公ニモ、嫌疑ヲ用ヒザルヲ得ル人ノナキナリ。宣其時ノナキナリヤト。

因言少師典舉明道薦才事少師ハ二程四世ノ祖程羽。太子少師ヲ贈ラレタ

ル人ナリ。ソノ薦舉ヲツカサドレルハ、イマダ審ナラス。明道ハ神宗ノ時、人オヲ薦舉セシメラレケルニ、ス、ムル所ノ者數十人、其中ニモ、表弟ノ張載、家弟

ノ程頤ヲ以テ、首トス。コレ人オヲス、ムルニ、嫌疑セザルタメニナリ。

君實嘗問先生云、欲除一人給事中誰可クニ、ビツ

為者君實ハ司馬溫公ノ字ナリ。除ストハ官ヲ任ズルヲナリ。給事中ハ官ノ名。毎日殿中ニ侍メ。尚書省ヨリ奏スルヲ申シツク職ナリ。温公

相タル時ニ、其人ヲエラビトラント。先生曰、初若泛論人ノ。誰ヲカセント。程子ニハカリトヘリ。

才却可今既如此、願雖有其人、何可言初ニ

ヒロク人オヲ論ジカケラレバ。却テソノ人トナリヲ申サルベシ。今ステニ此官ヲ任ゼントメタレヲカトアレバ。タトヒ思ヒヨル人アリ。申サレシヤト。蓋シ職ヲ越タル政。君實曰。出於公口。入於光耳。又

何害。光公温公ノ名ナリ。云意ハ公ト我ト。世ノツ子ノ間ニ。先生終

不言。ツイニイハサル。蓋シ嫌ヲ避

先生云。韓持國服義最不可得。韓持國名ハ維韓忠

舟于穎昌西湖。范夷叟名ハ純禮。范又正公ノ子ナリ。元祐中ニ持

須臾客將云。有一官員上書謁

見太資。官員トハ官ノ數。只官人ト云義ナリ。太資トハ資ハ位ノ列ナリ

公事。乃是求知己。程子ハジメイカヤウノ急切ナル公事アル

願將為有甚急切。願云。太資居位却不求人。乃

使人倒來求己。是甚道理。程子カノニズニイヘシク。公

夷叟云。只為正叔太

執求薦章常事也。正叔ハ伊川ノ字ナリ。求薦章ハ即ス、メラ

レイカヤウノ道理ソト。蓋シ知ラレン。トヲ求ル者ハ。己ガ守リヲ失フ。位ニア

ル人。ソノ来リテ求ルヲマダハ。世ニ

ノコレル人オ多カルベケレハナルベシ。

ノハナハタ義ヲモレルガ故ニコソアレ。今ノ世ニ求薦章ヲ願云不

然。道理カクノ如。只爲曾有不求者不與來求者

與之遂致人如此。元來位ニアル人。ソノ求メザル者ニハ薦章

持國便服。程子ノ義

先生因言今日供職只第一件便做他底

不得。因言トハ前ニ云ツルヲアルニヨリテ。又此ヲ云トナリ。供職トハ

官ニ居テ職ヲツトムル者。マゾサレヨリノ一ノ條ニ。吏人押申轉

運司狀。願不曾祭。吏人トハ朝廷ニアル諸奉行ヲサス。押ハ格

トハ名ガキスルヲナリ。朝廷ノ吏。願フヲアレバ。轉運司ニ申シ狀ヲサ、ケテ。

コレニ名ヲカキ。押ヲ加フ。程子ハカツ。國子監自係臺省。臺

省係朝廷官。外司有事合行申狀。豈有臺

省倒申外司之理。伊川此時ニ西京ノ國子監。教授タリ。臺省ト

外司トハ轉運司ヲ云。外ニアルノ司ナレバ。國子監ハ臺省ニカ、レル官ニ

只爲從前人只計較

利害不計較事體直得恁地。計較トハハカリタクラ

人。只一色ノ利害ヲ計較。朝廷ノ事体ヲ計較セサルガタメニ。今直ニカクノ

悪ムル、所官禄ノ利害
ニカ、ルヲアレバナリ。
須看聖人欲正名處見得道

名不正時便至禮樂不興是自然住不得

本文ハ論語ニ見エタリ。蓋シ名分正シカラザル時ハ事ニ施シ行フ所顛倒ノ
序ナク。垂戻ノ和カス。序ナケレバ。礼ツイニオコラス。和ガサレバ。樂ツイニナ
ラハコシ名ノ正シカラザルヨリ。其勢自然ニ任リ得ス。カクノ如クナリ。コ
レ上。文内官外司ノ名分ニ事實ノ相ゾムケルヲアルニヨリテ。此事ヲ引テイヘルナリ。

○**學者不可不通世務** 學者必世間ノ事務
天下事

如一家非我為則彼為非甲為則乙為

ノ出ル次第ヲ以テ云。天下ノ事。タトヘバ一家ノ事ノ如シ。皆セテナハハサレ
フナハニヨリテ。我コレヲセザレバ人コレヲナス。初ニ出ル者セザレバ。次ニ
出ル者コレヲナス。一ツモ身ニカ
カラス。スレキヲオレト知ベシ。

○**人無遠慮必有近憂思慮當在事外**

リ。遠近ハ時ヲ至トメ云。凡ソ事ヲ見エタル外ニ。遠ク思慮ヲメグ
ラサレハ必即時ニ憂フベキナリ。コノ故ニ近キ憂アリト云。

○**聖人之責人也常緩便見只欲事正無顯**

人過惡之意。聖人ノ非ヲ責ルツ子ニユル。即コレニヨリテ
見得タリ。只事ノ正シカラザル所アレバ。コノヲ正サ

コク欲スルノミニテ。ステニ正シケレバ。則止ミ。人ノ過惡ヲアラハサマク欲
スル意ナキヲ。蓋シ聖人ノ本意。惡ヲ隱シテ善ヲ揚ゲ善ヲ善ニスルヲ長ク
メ惡ヲ惡ニスルヲ短キ
ニヨリテ。カクノ如シ。

○**伊川先生云今之守令唯制民之產一事**

不得為其他在法度中甚有可為者患人

不爲耳

守ハ知州事令ハ知縣事ナリ。今ノ州守縣令タル者古ノ井田窮法ノ如ク民ノ産業ヲ裁制シヒトシクスル事ハ行フアタハス其外今ノ法度ノ中ニヲイテセラルベキ一甚多シ尺人コレヲセザルガ患タルバカリゾト

明道先生作縣

コレ先生扶溝縣ノ令タリト時イナリ

凡坐處皆書視

民如傷四字

本文孟子ニ出タリコレ文王民ヲ視ル其身傷ミアル者ヲミルガ如クニフカクアハレニ玉フヲイヘリ明道此四字ヲ凡坐處ニ皆コレ

常曰顯常愧此四字

顯ハ先生自名稱セリソノ民ヲ愛スル心ノ自ツ子ニ足フノルヲラシレヘテ此四字ニ愧ツト云ハナリ

伊川每見人論前輩之短則曰汝輩且取

他長處

前輩トハ年紀ワレヨリ前ニアル人ナリ短ハミナカレソノ不足ナル處ヲ云長處ハソノマサレル處凡ソ人ノ短ヲア

ノルハ薄徳ナリ況

ヤ前輩ニツイテラヤ

劉安禮云

安礼名ハ竝之程子ノ門人ナリ

王荆公執政議法改令

神宗ノ朝ニ王荆公參知政事トメ政ヲ執リケル時ニ新法ヲ議定シ号令ヲ改ム

言者攻之甚力

論ヲ立テ新法ノ非

ヲ及ル者カヲキハメテ甚ツトメタリサレバ荆公コレニ服セズ

明道先生嘗被旨赴中

堂議事

時ニ先生監察御史裏行トメ朝議ニアツカレリ旨ハ荆公サキニ言者ヲ怒レルオリフレニ

方怒言者厲色待之

先生ヲモ顔色ヲハゲシクメ待チカ

先生徐曰天下之事非一家私議願公

平氣以聽

コレハ天下ノ公議ニメ一家ノ私議ニアラス願ハクハ氣ヲ平ニメ存スル能クキカレヨト

荆公

為之愧屈 判公先生ノ徳光ニ感ゾ忽ニ怒氣ヲワスレ一言ノ間ニ愧ぢ屈メリ

劉安禮問臨民 臨民十八民ノ上ニ居テコレヲ治ル道ヲ云 明道先生曰

使民各得輸其情 民ヲ各ツノ情ヲツクム上ニ達セシムル時ハ下ニ施ス所アタラスト云フナリ

問御吏 ワガ下ニアル吏人ヲオサメツカフ道ヲ云 曰正己以格物 物トハ人

キ時ハ下敢テ非ラ犯サズツイニ其正キニ化ス徒ニ刑罰ヲキヒレクスルノミナレバ巧ニ免ルコトヲメ惡ヲスルノ心ヲ改メズ

○ 横渠先生曰凡人為上則易為下則難 上ハ

アル故ニ下ヲ制御スルコトヤスシ下ハ其情上ニ達シカズ又非理ノ事ニモ枉テ從ハザルコトアタハス 然不能為下 不能為下トハ我嘗テ人ノ下トナリテ上ニ事ル

亦未能使下不盡其情偽也 不能為下トハ我嘗テ人ノ下トナリテ上ニ事ル

大抵使人嘗在其前己嘗 イラヘザレバトナリ情ハニコト偽ハイツハリナリ

為之則能使人 人ニ事ヲオホセテサレツカフコトワレ其以前ニライテカフテ此事ヲシツレバ則今コレヲ以テ

人ヲヨク使ヒ得ルナリ

坎維心亨故行有尚 コレ易坎ノ卦辭ニ習坎有孚維心亨往有尚ト云ノ説ナリ習坎ハ重坎ナリ坎

ハ險ニノサガレキ義ナリ坎卦一陽實ニノ中ニアリ中ニニコトアルノ象ナリ餘ノ義ハ下ニ見エタリ 外雖積險苟

處之心亨不疑則雖難必濟而往有功也 外ノ

坎卦カサナレル故ニ積險ト云險ニ居テ出サル時ハツ子ニ險中ニアリ外ノ身ハ積險ニカハルトイヘモレコレニ居テ内ノ誠ヲ自信ビ心亨リテ疑ハ

ザル時ハ險難トイヘモ必濟リコトエユキテ嘉シ尚ブベキ功アルナリ 今水臨萬仞之山要下

即下無復凝滯之在前惟知有義理而已

則復何回避所以心通小尺ヲ切ト云今水アリ萬仞ノ山ヨリ下ニノヅムカ如キ下ラント

スレバタマチ下リテ禦ギ止メラレス凝リ滯ルウレヘ前ニアルナシ人

モ利害ヲカヘリミスノ只義理アルヲ知ルノミナレバ險難トイフ氏何ゾ

ハハカリテ回リ避ルコトアランコ

ノ故ニヨク心トラルヲ得ルナ

人所以不能行己者於其所難者則惰其

異俗者雖易而羞縮人志タバサルヲ以テフミタチテ已ラ行フコトタハザル者ハフノ難キ所ノ

事ニライテハ則ラコタリテエセス俗ニ異ナルコトニライ

テハスシトイヘ也羞縮ニリテ亦コレラエセザナリ惟心弘則

不顧人之非笑所趨義理耳視天下莫能

移其道只ヨク志タチテ物ニカバミザル時ハ心体弘クユタカニ

ス其趨キ向フ所義理ノミニノ他念ナシ天クノ然為之人亦未

事物ヲ見ルニヨク其志ヲウゴカシウツス者ナシ

必恠正以在己者義理不勝義理ニ趨キテスルコトハイカヤウナリトイヘ也

人亦必シモコレヲアヤシミス正ニコレ己ニアル者義理ノ心イマ

ダミタスノ其氣ニ勝ツコトアタハザルヲ以テコレラエセザルナリ情與

羞縮之病消則有長不消則病常在意思

齷齪無由作事長ズトハ義理ノ心長スルナリ齷齪トハイツガハレクセマリタル兒ナリ心物ニマフサル

於義理已明何為不為

古ノ氣稟志節ノ士死難ヲオカシ

ハイニタムシモアタルニジサレモ志稟アル者ニアラサレバアタハザル

ル

姤初六日羸豕孚蹢躅豕方羸時力未能

動然至誠在於蹢躅得伸則伸矣

羸豕ハソカレ

リ。蹢躅ハ子ヲドル義ナリ。ソレ陽ハ君子ノ象陰ハ小人ノ象ナリ。姤卦五陽ノ下ニ一陰初テ生ズナラ微ナリ。然レビソノ執長スレバ必陽ヲケス。豕ハ陰獸ソノ性サハガレクソ。ヨクハ子ヲドル。ヨリテ初六ニタトフレバ此時ハカノヨハキ豕ナレバ。蹢躅セントスル心。至誠ニノワスレヌヨレテ伸ルヲ得ル時ハ則伸ブ。君子ノ人小人カ微ナル時トイヘバアナルベカラストナリ。如李德裕處置閑官

徒知其帖息威伏而忽於志不忘逞照察

少不至則失其幾也

李德裕ハ唐ノ武宗ノ相關官ハ官中ニテナレツカハル、小臣ナリ。帖息トハ

レツマリヤム義ナリ。威伏トハ威ニラソレフスナリ。コレヨリサキ。官者ノ寄多カリシヲ。德裕武宗ト心ヲ合せ。官者ヲ處置ス。其執ヲトリフセタリ。然ルニ武宗病アリテ危カリケル時ニ。官者ノ輩官中ニテ謀ヲ定ム。武宗ノ叔父光王ヲトリタテ。武宗崩ガ即位ニツク。コレ宣宗ナリ。ヤガテ宣宗ノ詔ヲ以テ。德裕カ政ヲムバヒ。外ニ出。荆南節度使トス。コレヨリ後。又官者朝政ヲホシイマニセリ。德裕タ、ニ小人ノ一且帖息威伏シタルヲ。コレト知ルノミニテ。彼等ガ其私ヲ逞クセン志ヲフスレザルヲアナドリ。照監省察少キ至ラザルニヨリテ。則幾微ノ備ヲ失ヒテ。其功ヲムナレクナシ。其身モハツカレメラレタリ。コレ羸豕ノ蹢躅ニ孚アルイマシメヲ。知ラザルニヨリテナルベシ。幾トハ事ノキザレノワツカナル處ヲス。

人教小童亦可取益

已ニ益ヲトルベキゾ。絆已不出入

益也

ワカ身諸生ニホタサレテ居處ヲミタリニ出入セサルノ益アリ。

授人數數已亦了

此文義二益也

投入ト人ニ書ラトキ教ルゾ了ズトハサトルナリ。

對之必正

衣冠尊瞻視三益也

コレ威儀ヲ失ハザルノ益アリ。尊瞻視トハ瞻ミミルナリ。目ツカニラナメゲ

常以因己而壞人之才為憂則不敢

墮四益也

ツ子ニワカ非ヲナラフニヨリテ人々ノ才質ヲソナフ

ラザル益アリ。

近思錄示蒙句解卷之十一 凡二十一條

教學類

此卷八人ヲ教ル道ヲ論ス。君子進ンテ仕ル時ハ。此道ヲ政ニホドコシテ。天下ノ人ヲ濟シ。退イテ處ル時ハ。此道ヲ已

ニ抱キテ。來リ後フ者ヲ教フ。皆新民ノ事ナリ。

濂溪先生曰剛善為義為直為斷為嚴教

為幹固

人ノ氣質ノ剛ク柔カナルハ。陰陽ノ對ナリ。而ノ又其中ニ。ヲノ善惡ノ分レアリ。コレハ剛ノ善ヲ云。義ハ節義ナリ。直ハ正

隘為強梁

コレハ剛ノ惡ヲ云。猛ハタケクアラキゾ。隘ハ人ヲコバミ

惡為猛為

柔善為慈為順為翼

コレハ柔ノ善ヲ云。慈ハアハレミ。フカキゾ。順ハ

直ナリ。斷ハ決斷ナリ。嚴教ハオソロシクツヨキゾ。幹固ハタヘテカタキゾ。志氣堅固ニ。ヨク事ヲ任スル義ナリ。

近思錄卷之十一 教學類

ニユツル。義ナリ。惡為懦弱。為無斷。為邪佞。コレハ柔ノ惡ヲ云ハキズ。無斷ハ。決断ナクノ事ヲ果サツルナリ。邪佞ハ。ユガミ子チケタル。惟中也者。和也中節也。天下之達道也。聖人之事也。

トヨリ正レカラス。其善モ亦イニダ必シモ中ナラス。此段ハ性ノ中正ナルヲ云ナリ。中トハ。過不及ナキナリ。中ナレバ物ノ道理ト相和キテ。ソムキモトラス事ニ應ズル所各ノ道ナリ。人ヨクカクノ如クナルハ。即聖人分ヒノ事ナリ。

故聖人立教。俾人自易其惡。自至其中而止矣。自剛柔ノ惡ヲ變易ノ。必中道ニ至リテ後ニ止ラシム。イニダ中ニ至ラザレバ。カメナリ。剛柔ヲ子ソナハリテ。皆善ナル時ハ。蒙殺慈順ノ德ノミニテ。強梁懦弱ノ病ナレソレ。又中ニ至ル時ハ。善ナル所皆節ニアタリテ。太過不及ノ偏ナシ。蓋レ人ノ學ラスル。氣質ヲ變化センガタメバカリナリ。イニダ氣質ヲ變化スル

コトアタハズハツトメマナフ。トイフ所。コレ何ノ益アラシヤ。

伊川先生曰。古人生子。能食能言而教之。ハシメテ食スルヲ知レバ。右ノ手ヲ用ルヲ知フ。ハレメテモノ云フヲ知レバ。人ニイラヘラスルヲ知フ。

大學之法。以豫為先。コレ學記ニ。太學之法。禁之於未教之謂豫トアルニヨリテ。イヘリ豫ハ。アラカジメナリ。時ニ先ダチテ教ルヲ云。幼

人之幼也。知思未有所主。便當以格言至論。日陳於前。雖未曉。知且當薰聒。

使盈耳充腹。久自安習。若固有之。雖以他言惑之。不能入也。此ヨリ下ハ。幼少ヨリ豫メ教ルノ義ヲ詳ニトク。薰ハ。烟ニフスブルガ如クナルヲ云。

近思錄卷第十一

聒ハカマビスレ。聲ノカシガマシキヲ云。格言至論ト公格モイタルナリ。至極
 ノ善キ言論ヲ云。ソレ人幼キ時ハ。知識思慮イマダ善惡ノ主トスル所ナシ。此
 時ヨリ至極ノ言論ヲ以テ。日々ニ其前ニトキレキ。イマダ其理ヲ曉リ知ラズ
 トイフ所。薰ヘ聒クノ。ソノ耳ニミテ。腹ニアカシムベシ。久ウノ後ニ。フノツカ
 ラ安ジ習ヒテ固ヨリムマレツキテアルガ如ク。ユナレハ。他ノ
 邪説ヲ以テコレヲ惑ハセ所。其心ニトリ入ルヲアタハザルナリ。若爲之
 不豫及乎稍長私意偏好生於内衆口辨
 言鏗於外欲其純完不可得也
衆口辨言ト公諸人ノ口ヨリ出ル種々
 巧ナル辨説ヲ云。鏗於外トハ。金ヲワカレテ。外ヨリ内ヘトロケイルガ如ク
 ナルヲ云。ソレモシコレヲ教ル。豫メセズ。心ノマ、ニナリタ、シムレ
 ハソノマ、ヒト、ナルニ及ンテ。私ノ意。偏ナル好。三。内ヨリ出ル。口々ノ
 辨邪説。外ヨリトロケ入ル。此時ニハ。ハニ教ヘセ、ガミテ。善ニ純ニ。完ナラ
 ミク欲ス所。必定得
 ガタカルベキナリ。

觀之上九曰觀其生君子无咎象曰觀其
 生志未平也傳曰君子雖不在位然以人
 觀其德用爲儀法故當自慎省觀其所生
 常不失於君子則人不失所望而化之矣
其生トハ。己ヨリ出ル所ノ言行ヲ云。凡ソ易卦ノ例。五ノ久ハ人君ノ位ニアタ
 ル。上爻ハ位ナク。人ノ上ニ居ル者ニアタル。傳ニミツク辭ヲ釋ス。觀ノ上九
 ハ。君子陽剛ノ德アリ。君ノ位ニ居ラストイヘ所。人ヲシタツトビテ上ニラキ。
 其德ヲ望ミ見テ。以テ儀則法度トスル者ナリ。コノ故ニ。君子自ツ、シ。ソノ
 己ヨリ出ル言行ヲ省ミ。觀ハシテ。常ニソノ君子タル所ヲ失ハザレバ。人モソ
 ノ望ム所ノ意ヲ失ハス。ツイニ亦其德ニ化ス。君子ヨクカクノ如クナル
 時ハ。各ナキ。不可不在於位。故安然放意無
 ラ得ルナリ。

○
所事也

象ノ辭ニ觀其生志未平也トハ上九ノ君子ソノ位ニアラザルヲ以テノ故ニ安然ト意ヲホレイマ、ニ人守リテ事トスルアルニシケレバツト蓋シ君子ニノ位ナキ時ハ其志ヲ高尚ニシテ事ヲカロンズルアルニヨリテ聖人コレヲ戒メ玉フナルベシ

○
聖人之道如天然與衆人之識甚殊邈也

聖人ノ道ステニ及ブミレキ如シ衆人ノ見識ト甚殊ニ邈ナリ門人弟子親ミチカツキテ後ニ初思ヒシヨリモ、ス、高遠ナルヲ知ルトリ既若不可及則趨望之心息矣

○
門人弟子既親多而後益知其高遠

聖人ノ道ステニ及ブミレキ如シ衆人ノ見識ト甚殊ニ邈ナリ門人弟子親ミチカツキテ後ニ初思ヒシヨリモ、ス、高遠ナルヲ知ルトリ既若不可及則趨望之心息矣

○
故聖人之教常俯而就之

聖人ノ道ステニ及ブミレキ如シ衆人ノ見識ト甚殊ニ邈ナリ門人弟子親ミチカツキテ後ニ初思ヒシヨリモ、ス、高遠ナルヲ知ルトリ既若不可及則趨望之心息矣

○
君于之常行不困於酒尤其近也而以己

君于ノ常行不困於酒尤其近也而以己處之者不獨使夫資之下者勉思企及而

○
才之高者亦不敢易乎近矣

才ノ高者亦不敢易乎近矣

○
敢不勉不為酒困何有於我哉ト云ノ意ヲトク上ニ事ハ喪ヲ勉ムルハ君子ノ

○
常行ニメ聖人ノ事ノミニアラズ酒ニミダレサルハ尤淺近ノ行ナリ然ル

○
明道先生曰憂子弟之輕俊者只教以經

○
學念書不得令作文字

近思錄句解卷十一之二

ニオボエテヨムナリ。文字トハ詩文ノ類ヲサス。子弟ノ心軽ク。オノサレシキタル者ハトリシムルヲキラヒテ。ハセウカムイラコノム。コレヲウレヘバ。教ルニ經學念書ヲ以テノ。其心ヲ平カニシ。其氣ヲ定ムベシ。モレコレニ文字ヲ作ラシムレバ。其オヲハタラカレテ。マスノ軽俊ニナル者ナリ。子

弟凡百玩好皆奪志凡百トハ數多キラスベテ云詞ナリ。玩好ハモテアソビコノムゾ。藝術田獵ノ

類ヲ云皆ソノ學ヲツトム道道ヲ求ル志ヲムハヒトナリ。至於書札於儒者事最近

然一向好著亦自喪志書ハ書法。テカクフナリ。札ハ書簡ナリ。好著ハ尺コノムゾ。著ハツケ

如王虞顏柳輩誠為好人則有之曾見晋ノ王羲之。唐ノ顏真卿。虞世南。柳公權。ミナ

有善書者知道否書法ニ巧ナリ。又各風節アリテ。名聞世ニア

平生精力一用於此ラハルソノ好キ人タルハ。則コレアリ。サレバ皆イニ道ヲ知ラサルナリ。

非徒廢時自於道便有妨處足知喪志也此トハ。書札ノヲサス。廢時目トハ。目ヲムナレクツイヤス。ヲラ云。

胡安定在湖州置治道湖州ハ。今ノ湖南。安定先生湖蘇二州ノ學校ノ教授タリ。時ノヲナリ。治道ヲ一説ニ

道者講之於中如治民治兵水利筭數之治事ニ作ル。水利トハ。田地ヘ水ヲ引キ。又水ヲフセキ。渠川ヲホリテ。舟ヲ

類通スルノ類。凡ソ水ヲ治メテ。人民ニ便利アルヲナリ。嘗言劉晏善治水利オハ。唐ノ名臣。善ク水利ヲ治メ。後世ニ

為政皆興水利有功劉晏字ハ執中。水利ヲ安定ノ下ニ講

政ヲスルニツイテ安定ノイヘルガ如ク。水利ノ功ヲタテタリ。

近思錄河解卷十二之三

近思錄河解卷十二之三

凡立言欲涵蓄意思不使知德者厭無德

者惑意思トハ意味ト云カ如シ凡ソ言論ヲ立テハ入ヲ教ル者ハ其詞ヲ

教人未見意趣必不樂學欲且教之歌舞

如古詩三百篇皆古人作之如關

雎之類正家之始故用之鄉人用之邦國

日使人聞之今ノ毛詩三百篇ハミナ古人ノツクレルモノナリ

詠詠タル詩ナルニヨリテ家ヲ正クスル道ノ始ナリコノ故ニ古ハ鄉人ノ

飲會ニモ邦國ノ宴ニモコレヲウタヒモノニ用ヒテ日々ニ人ヲノキカシ

メタ此等詩其言簡奧今人未易曉欲別作

詩略言教童子洒掃應對事長之節令朝

夕歌之似當有助古詩ノ意ハヨシトイヘバ其コトバ簡ニ奧

今別ニ詩ツクリテアラマシ童子ニ洒掃應對事長者ニ事ル禮節ヲ教ル

ノベテ朝夕コレヲウタハシメク欲スカクノ如クセバ教化ニ助アルベキ

者ノ如

子厚以禮教學者最善使學者先有所據

守子厚ハ橫渠先生ノ字ナリ凡ソ學者ニマツ禮節ヲ教ヘラレタリ其法最

近思錄初解卷十二之三

子厚以禮教學者最善使學者先有所據

守子厚ハ橫渠先生ノ字ナリ凡ソ學者ニマツ禮節ヲ教ヘラレタリ其法最

近思錄初解卷十二之三

子厚以禮教學者最善使學者先有所據

コアラシメメンガ

タメナレバゾト。

語學者以所見未到之理不惟所聞不深

徹反將理低看了學者ニ教ヘツグル。其人ノイマダ見テラサル。向上ノ道理ヲ以テスレバ。只ノ聞ク

所深ク徹ラザルノミナラスコレニヨリ

舞射便見人誠舞射ハ技藝ナリトイヘ。古人コレヲ教ヘテ以テ即其人ノ誠ナルヤ否ヤヲコ、ロムルナリ。古之教人莫非

使之成己凡ソ古ノ教ハ人ヲノ各己ガ徳ヲ成サシムルニアラストナケレバ工夫ヲ用ルノ地ナシ。得ル所アリトイヘ。亦コレヲ失ヒヤスレツイニ己ヲ成スノ道理ナシ。自洒掃應對

上便可到聖人事只射舞ノ教ノミナラス洒掃應對ノ小節トイヘ。亦ミナ誠ヲ教ルノ一ニノ誠ノ至極

ハコレ聖人分上ノ事ナリ。コノ故ニ洒掃應對ノ上ヨリノ即タバチニ聖人ノ事ニモ到ラルナリ。

自幼子常視無誑以上便是教以聖人事幼子常視無誑ト云ハ。曲礼ノ文ナリ。コレ古人ハ幼見ヨリハジメテ教ルノ道

スデニ誠ヲ以テスルナリ。而ノ誠ノ至リハ即聖人ノ事ナリ。然レバ古人幼見ノ教ヨリ以上即タバチニ

聖人ノ事ヲ以テ教ルナリ。

先傳後倦コレ論語ニ。子游子夏ノ門人洒掃應對進退ノ末ニハヨケ

テ君子ノ道イゾレヲカマツ傳ヘテ教ル所トシ。イツ

君子之教人

有序先傳以小者近者而後教以大者遠

レヲカ後ニ倦ミテ教ヘザル所トセント云フヲヒケリ。

者非是先傳以近小而後不教以遠大也。

コレ子夏ノ意ヲ明セリ。序ハ次第ナリ。蓋シ事ニハ大小アリテ。理ニハ大小ナシ。事ニ大小アル故ニ等ヲコエテ。遽ニ教フベカラス。理ニ大小ナキ故ニ。幼少ノ時ヨリ。即聖人ノ教ヲ教ルナリ。此章ト上二章ト。兼子儼セ見テ。其義ハジメテソナハレルナリ。

伊川先生曰。說書必非古意。轉使人薄。

今ノ講釋ノ如ク。字々句句ニ解説スルヲ云。コレ必古人之本意ニアラズ。人ノ厚キヲ轉メ。薄クナラシムルヲナレバ。ソト其義ハ下ニ見エタリ。學

者須是潛心積慮。優遊涵養。使之自得。今

一日說盡。只是教得薄。學者ニハ。心ヲ沈メ。慮ヲツミ。優遊

自然ニ會得セシムル道ヲ用フベシ。カクノ如クナレバ。ソノ得ル所深ク厚シ。今ノ教ル者。ソノサヅクル所ノ書ヲ一日ニ說キツクスヲ以テ。キク者ソノ

至如漢時說下。惟講誦猶

未必說書。暖薰ノ類ナリ。董氏門人多カリシカ。常ニハ惟ヲタシコ

メ居リテ。諸生ニ講誦セシメ。先輩ヨリ次第ニ業ヲ相サツケテ。末ノ弟子ハ。イ

マ必師ノ面ヲ見ザル者アリケルトゾ。コレヲ以テ見ルバ。漢ノ時マデニ。ナラ

古者八歲入小學。十五入大學。擇其才可

教者。聚之不肖者。復之農畝。蓋士

農不易業。既入學。則不治農。然後士農判

在學。庶人ノ子オアル者。太學ニエラビイラシ。不肖ナル者。農ニカヘ

之養若士大夫之子則不慮無養雖庶人

之子既入學則亦必有養養トハ學料ヲ云士大夫ノ子ハ家祿アル故ニソノ養給ガ

古之士者自十五入ガランカノ慮リナシ庶人ノ子モステニ大學ニ入レバ則亦必上ヨリノ養ナリ

學至四十方仕中間自有二十五年學又

無利可趨則所志可知須去趨善便自此

成德イマダ四十二及バズメ祿仕スルヲ得サル内ハヲノツカラ利ニ趨クノ意ナシ然レバ二十五年前ノ志ス所學ニ專ナルヲ知ヌベシヨリテコレヨリ善ニ趨キモテ

後之人自童推問ユキテ即ソノ徳ヲ成スヲ得ベキナリ

已有汲汲趨利之意何由得向善後トハ後世ナリ汲々トハ急

故古人必使四十而仕然後志定只

營衣食却無害惟利祿之誘最害人人有

養便方定志於學ステニ學ニ居ル養アリ又必四十二ノ後ニ仕ルノ法立テ後ニ學者ノ志定リ學ニ專ニ

ノ利ニ趨カズ蓋し身ヲ養ハンガタメニ衣食ヲ營ムハ却テ心術ニ甚キ害

ナシモシ利祿ノ榮ニミチヒカル時ハソノ學ブ所利ノタメニ己ガタメ

害タルノ最甚シニセズヨリテ其

天下有有多少才只為道不明於天下故不

得有所成就天下ノ人才多シトイヘ道明ナラスメ教化行ハル

且古者興於詩立於禮成於樂如今人怎

生會得シヤクイトセ興於詩トハ善心ノオコルヲ詩ヲ學ブニツイテコレヲ得ハ

能興起於詩後世老師宿儒尚不能曉其ウタヒモ義シ怎生責得學者是不得興於詩也ウタヒモ

般雖閭巷童稚皆習聞其說而曉其義故ウタヒモ

古禮既廢人倫不明以至治家皆無法度ウタヒモ

是不得立於禮也ウタヒモ

古人有歌詠以養其ウタヒモ

性情聲音以養其耳目舞蹈以養其血脉ウタヒモ

今皆無之是不得成於樂也ウタヒモ

古之成材也易今之成材也難ウタヒモ

古ハ易クメ今ハ難シト云トイヘ臣學者古ノ詩礼樂ノナラ今ニ存スル者

ノ性情ヲ正ク養ヒイル、ナリ。聲音トハ八音ノ樂器ニ五聲十律ノソナハ
リタルヲ云コレヲ以テ耳目ノ聰明ヲ養ヒ得レハ滌聲邪色コレヲミダ
ルヲ得ス手ニ舞ヒ足ニ踏ミテソノ節奏ニカナフ時ハ身ノ血脉ヲ養ヒ得
テ氣平カニ体ヤハラキ容顏威儀正クナリ定リテ怠惰放逸ノ失ナレコレ樂
ニヨリテ内外コモバク古之成材也易今之成材也難
コレ上文ヲスベムス材ハオト同。程子古今ノ世変ヲ歎キテ人オヲ成ス
古ハ易クメ今ハ難シト云トイヘ臣學者古ノ詩礼樂ノナラ今ニ存スル者

ヲタツ子元己が興立
成ノ方ヲ庶幾フベシ。

孔子教人不憤不啓不悱不發論語ノ文ナリ。憤トハ心通ゼンコトヲ求

メテイマダ通ゼサルコトヲ云。啓ストハ其意ヲヒラクナリ。悱トハ口ニイ
ハマク欲メイマダアタハガルコトヲ云。發ストハ其詞ヲ達スルナリ。蓋

不待憤悱而發則知之不固待憤悱而後

發則沛然矣モシ憤悱ヲ一タヌノ數スレハ其キ、知ルコト堅固ナ
ラス。他ニウツリヤスレ。憤悱ヲ一チテ而メ後ニ發

然トメ水ヲキリ流スガ如シ。學者須是深思之思之不

得然後爲他說便好深思之トハ道理ヲ深クタツ子モトム
ルゾ。爲他說便好トハ即憤悱ヲ一チ

テ後ニ發スルバ。初學者須是且爲他說不然非

獨他不曉亦止人好問之心也初學ノ者ニハ、
ラクソノタメニア

ラマシヲトクベシ。然ラザレバ。只ツイニ其理ヲサトラサルノミナラズメ。ハ
ジメヨリトヘモコタヘザルニヨリテ。人ノ問アテ好ム。良心ヲフセギ止ム

ルナリ。コレ又初學ヲ
ミチヒクノ一術ナリ。

○横渠先生曰恭敬樽節退讓以明禮仁之

至也愛道之極也樽節トハ樽ハオモムクナリ心節ハ二オモ
ムキテホシイニ、ナテ又義ナリ。恭ヒ敬ム

ハ。礼ノ本ナリ。節ニラモムキ退キ讓ルハ。礼ノ文ナリ。人ヨクカクノ如クニメ。

以テ礼ヲ明ニスレバ。日用言動ノ間天理流行シ人欲消盡ノ心ノ徳アリニ全

シ。コレ即仁ノ至リナリ。又恭敬ニメアナトラス。樽節ノヲヲラ己不尅明

則人無從倡道無從弘教無從成矣ワレツト
メテ礼ヲ

明ニセズハ人ヲ何ニヨリテカヒキ井倡ハシ。道ヲ何ニヨリテカ行ヒ私メン。教ヲ何ニヨリテカ成レ就サン。然レハ人道ハ礼ヲ明ニスルヲ以テ要トス。學記曰進而不顧其安スメテ。人ヲ教ル者。タバニ學者ノ業ヲヒ

ルヤ否ヤラカハリシズ。使人不由其誠エ夫ヲ用ルル。アカラサニニ。教

人不盡其材學記ニ人ヲ教ル者ノ非ラアグル。上丈ノ如シ。

人未安之又進之未喻之又告之徒使人

生此節目此ヨリ下ハ學記ノ丈ヲ釋ス。節目トハ物ノフレメナリ。事

一ヲ顧ザルニヨリテ誠ヲモチヒス。オラツクサハルヤウノ。サマノ患。出來ルトガ。不盡材不顧安不

由誠皆是施之妄也三ツノ。皆コレ教ル者。節ヲレノ。等

教人至難必盡人之材乃不誤人觀

可及處然後告之人ヲ教ル。一ノ至リテ難キトスルハ。必人ノ

人之教直若庖丁之解牛皆知其隙刃投

餘地無全牛矣テ牛ヲキリトク者ナリ。一レハ其ヨク手ノキ、

タル者ヲ以テ云。隙トハ骨肉ノツガヒヲサス。投ズトハウチイル、義ナリ。餘

地トハ場ノヒロキ義ナリ。牛ヲトクニ。コトハク骨肉ノツガヒヲ知リテ。ワ

ヅカノスキマナレド。刀ヲウチイル、處餘地アルガ如クニヨクアタルナリ。

解キテ後ニハ。イツレノ牛ヲ見テモ。ミナツガヒノハナシタルヤ

足以有爲但以其不由於誠則不盡其才

若曰勉率而爲之則豈有由誠哉凡ツ人ノ才其長ズル處ヲ成

就スレバ各ヨクスルアハニ足レリサレ正實ニカラ用ヒテ學ビザルニヨリテ其オラツクスアタハズモシ勉強ノレ井ツトメ躁率ニノアラクサハガシクカクノ如クニノ學ヲ爲ルト云者ナドハコレエ夫ヲ用ルニ似タレ

其誠ヲ用ル所アラシヤヨリテツイニ其オラツクスアヲ得ザルナリ

古之小兒便能敬事古人之教ハ豫スルニヨリテ小兒ノ時

長者與之提携則兩手奉長者之手問之テラトハ

掩口而對曲礼ノ文ナリ提携トハ手ヲヒキテユクナリ掩口而對ルハ長者ニ息ノフレニヲオフレテナリ此段即古ノ小

兒ノヨク事ヲ敬ム處ナリ敬ム處ナリ蓋藉不敬事便不忠信故教小兒

且先安詳恭敬安詳トハレツカニツマビラカナルゾ蓋シ人ヤヤ事ヲオソレヲモシテ敬セザルハ即ソノ心慮

ラツクサズノコトアラザル處ナリコノ故ニ小兒ヲ教ヘテ忠信ナラシムルニハ安詳恭敬ニノ事ヲ敬ムヲ以テ先トハ安詳ナル時ハ豫率ナラス恭敬ナル時ハ傲慢ナラスコレ忠信ノ本ナリ

孟子曰人不足與適也政不足與間也唯

大人爲能格君心之非文義前篇ニ見エタリ非惟君心至

于朋遊學者之際彼雖議論異同未欲深

較惟整理其心使歸之正豈小補哉朋遊トハ

交リ遊ブ者ヲ云學者トハ後輩門人ヲサス際ハ交リヲ云朋友學者ト議論ノ間カシ同ク異ナル所アリトイフ凡ソノ是非ヲアラソヒタクラベニク欲セ

行思録句解卷十一之三

ス。只ソノ心術ヲ整ヘ理メテ。正キニ歸着セシムベシ。モシコ
レヲ正シ得バ。其切甚大イナリ。豈タマ小キ辭ヒノミナランマ。

千眼透學者之... 大人哉... 孟子曰人... 且夫...

近思錄示蒙句解卷之十一 凡三十三條

警戒類

私欲キガレヤスク。善日々ニ消テ。悪日々ニ
積ム。ヨリテ此卷ニ戒慎恐懼ノ道ヲシルス。

漁溪先生曰仲由喜聞過令名無窮焉

キ名ナリ。孟子ニ云ク。子路人告之。以有過則喜ト。コレソノ過ヲ改メテ善ニシ
ツルノ益アルヲ喜ベルナリ。ヨリテソノ令名。後世ニキコエテ。久キキハ

今人有過不喜人規如護疾而忌醫寧

減其身而無悟也噫

諫ルヲイミキラヒテ。其身ヲ惡ニオトシイルハ。ナラ疾ヲカクシモチテ。
人ノ醫療スルヲイミ。其身ヲ減却スレド。ヤスニゾ。サトルヲナキ者ノ如シ。

意トハアハレシ
ナゲク聲ナリ。

伊川先生曰、德善日積、則福祿日臻。道徳善行日々ニ積

レバ、天命コレニアツク。福祿日々ニ至リクハ、レバ、天命コレニアツク。福祿日々ニ至リクハ、德踰於祿、則雖盛而非滿。

モシ徳アツク。祿ナラコレニ及バザル時ハ、ソノ富貴スデニ盛ナリトイヘ。イマダ満チ足レルニハアラス。自古隆盛

未有不失道而喪敗者也。隆モサカントレバ道トハ徳善ヲサス。モシ祿ソノ徳ニス

キタル時ハ、薄祿トイヘ。亦コレヲウケモツニタヘス。况ヤソノ盛ナルヲヤコノ故ニ、古ヨリ隆盛ノ世ノ喪ビ敗ル、トマツ其道ヲ失フニヨラザルハナシ

人之於豫、樂心說之、故遲遲遂至於耽戀

不能已也。此章ハ易ノ豫卦ノ六二ノ傳ナリ。凡ソ人豫ビ樂ムトイテハ、心コレヲ悦ブ故ニ、遅々トユルヤカニモ、遂ニ耽リ

豫之六二、以中正自守其介、如

石其去之速、不俟終日、故貞正而吉也。六二ノ爻辭ニ、介于石不終日、貞吉又繫辭ニ、見幾而作、不俟終日ト云義ヲ釋ス。此卦

坤下震上ナリ。六二中ニ正ク、上ニ應又ナシ。コレヒトリ立テ自守リ、其ミサ

ホノ堅キ。石ノ如クニ、ウゴカス。豫樂ニ居ルトイヘ。去ルベキ時ニアタ

リテハ、則去ルノ速ナル。其日ヲ終ルヲマタズ。ヨリテ、コノ貞正ヲ以テ

吉ナリ。處豫不可安且久也。久則溺矣。溺ルトハ即遲々耽戀ノ已ム

如二可謂見幾而作者也。蓋中正故

其守堅而能辨之早、去之速也。幾トハ事ノキザレノカスカナル處ヲ

キサダムルハヤク又
コレヲ去ルヲモ速ナリ

人君致危亡之道非一而以豫為多人君國家ヲ危ブメ

亡スヲ致スノ道一端ニアラス其中ニ豫
樂ニオホルヲ以テコレヲ致スヲ多キナリ

聖人為戒必於方盛之時物盛ナルヲキハレバ必衰

則驕侈生樂舒肆則紀綱壞忘禍亂則釁亂ノ戒ヲタルハ必國

孽萌是以浸淫不知亂之至也舒肆トハユルビ

故ニ紀綱有ニナル時ハ驕り侈ナル意生ズソノウヘニユルビヒロコ
一ヲ樂ム時ハ紀綱法度ヤブレ又ソノウヘニ禍亂ノ患ヲ忘ル時ハ禍亂ノ

端即キガスコヲ以テ漸々ニヒタリオボレテ忽ニ禍亂ノ至ルヲオボエ
ガルナリモシ盛ナルニ方リテヨフ戒ル時ハ乘通ノ道ヲ知リテ長久ノ運ヲ
タモツマ
キナリ

復之六三以陰躁屢動之極復之頻數而

不能固者也此章ハ易ノ復卦ノ六三ニ頻復屢无咎ト云ノ傳ナリ

陰及陰ノ性物ニタヘズノ躁ニ此爻動体ノ極リニ居リ過チヲ知テ善
ニカヘレドコレヲレバノ堅ク守ルヲアタハザル者ナリ

貴安固頻復頻失不安於復也復善而屢

失危之道也ソレ善ニカヘルハコレニ安ニテ固ク守ルヲ以テ貴

ハソノ復ルニ安ンゼズ。善ニ復ルハヨケレト。亦レ
バノ失フアアルハ。コレ安カラズ。危キノ道ナリ。
聖人開其遷

善之道與其復而危其屢失故云厲無咎
聖人人ニ善ニウツルノ道ヲ開キ示サシメニ。ソノ復ル所ニク
ミ。咎ナシトシ。又ソノレバノ失フヲ以テ危レト戒メ玉フナリ。

以頻失而戒其復也。頻失則爲危。屢復何
咎。過在失而不在復也。此戒ルハ止ムルヲ云。

質夫曰頻復不已遂至迷復
劉質夫名ハ絢。程子ノ門
人ナリ。頻復ハ咎ナシト

イヘト。頻失テヤミザレバ。ツイニ上六ノ迷復ト云ニ至
ルナリ。復ルニ迷フ時ハ。復ルアタハスノハツルナリ。

睽極則嗝。戻而難合。剛極則躁暴而不詳
此章ハ易ノ睽卦ノ上九睽孤ト云ノ傳
ナリ。九ノ君子クダレシ世ニ居テハツ

羽極則過察而多疑
ノ志シ行フ所。衆ニソムキ。獨ダチテモ。カヘリミザルコトアリ。然レト此卦見下
離上ニモ。上九ハ睽。一極リタル故ニ。ヒタスラ人ト嗝ニ戻リテ。イツレノ時タ
ガ心ニモ合ヒガタシ。又陽剛ノ極リナル故ニ。躁ク暴クノ許ナラス。又離ハ睽
卦ニモ。此文明ノ極リナル故ニ。物ゴトニ察ヲ入ルコト過ギテ。疑ヒラニハス
多シ。コレ皆睽イ

睽之上九有六三之正應實不
孤而

孤而

如人雖有親黨而

多自疑猜妄生乖離

雖處骨肉親黨之間

而常孤獨也

親黨ハ親族ナリ。疑猜ハウタガヒハカルナリ。人親族
アリトイヘト。剛極リ明過ル時ハ。人ノ心ヲクリウタ

近思錄句解卷上之三

此章ハ易ノ睽卦ノ上九睽孤ト云ノ傳
ナリ。九ノ君子クダレシ世ニ居テハツ

カフヲ多クも妄ニ乖キ離ルハ患ヲ生スヨリテ骨肉ノ如クニ相
ハナレガタキ。親族ノ間ニ處ルトイヘド。只一人ツ子ニ孤獨ニノ
ハツル
ナリ

解之六三曰負且乘致寇至貞吝此卦坎下震上

柔ニ下卦ノ上ニアリ。處ル所其位ニアラスコレ物ヲ負ヒ荷フベキホドノ
下賤ノオニメ。車ニ乘リタルガ如シ。盜賊其車ノ似アハザルヲ見テコレヲム
バ、ントスル意アリコレ自寇ノ至ル
傳曰小人而竊盛位

雖勉爲正事而氣質卑下本非在上之物

終可吝也此爻陰柔不オノ小人ナレモ幸ニ盛ナル位ヲヌスミ得テ

盛位ト云其身ニオハザル位ニ居ル故ニ勉メテ正キ事ヲ行フトイヘドソノ
氣質卑ク下シモト上位ニアル人物ニアラザルヲ以テツイニ吝ンツベキゾ

若能大正則如何コレ上ニツキテ疑

曰大正非陰柔所能也若能之則

是化爲君子矣陰柔トハ六三ノ

益之上九曰莫益之或擊之此卦震上巽上ナリ上九

益ヲ求ル極リ衆人ノ共ニ惡ム所ナリコノ故
傳曰理者天下

之至公利者衆人所同欲苟公其心不失

其正理則與衆同利無侵於人人亦欲與

之道理ハ天下ノ至公ナレバ人コレヲ否ムコトアタハス利益ハ人ノ同ク欲
スル所ナレバワレニノミコレヲホシイニニスルコトヲ得スコノ故ニ

人モ其心ヲ公ニシテ道理ノ正キスチラ失ハザル時ハヨク衆人ト利益ヲ同クメ人ノ利ヲ侵シムバフナシ人モ亦コレニクミセマク欲メワカ利ヲ侵スナリ

若切於好利蔽於自私求自益以損於人則人亦與之力爭故莫肯益之而有

擊奪之者矣切トハ急ナル義ナリ力争ハツトメアラソフナリ。擊奪ハセメ撃チ奪ヒトナリ。

艮之九三曰艮其限列其夤厲薰心艮ハ止ルノ義ナリ。九三ハ剛陽ノオチヲ以テ剛陽ノ位ニ居テ中ナラス下体ノ上ニアリテ上下ノ限ニ堅ク止リ進ムコトモ退クコトモアタハザル者ナリコレナラ人ノ背ヲ腰ヨリサキヘダテハ血脉上下ニツラヌカザルガ如シカクノ如クナレバ物ト相ソムキテソノ危キヲ心胸ヲヤキコカスカ如シ

傳曰夫止道貴乎得宜行止不能以時而定於一其

堅強如此則處世乖戾與物睽絕其危甚矣ソレ人ノ止ル道ハ至善ヲエラヒ時ノ宜キヲ得ルコトヲ貴ブモシソノ行クモ止ルモ時ニカナフコトアタハスノ只一カタニ定ルコトノ堅ク強キコトカクノ如クナレハ世ニ處テ乖キ戾リ

人之固止一隅而舉

世莫與宜者則艱蹇念畏焚撓其中豈有

安裕之理厲薰心謂不安之勢薰燥其中

也固トハナツミトバコホル義ナリ。一隅ハ口トスミナリ。舉世莫與宜者ト

ソムクニヨリテワレ怒リ畏ルハナリ焚撓ハヤキタハマ

スゾ中心ヲサス安裕ハヤスクユタカナリ薰燥ハフスベヤナリ

大率以說而動安有不失正者コレ易卦歸妹ノ象

說以動凶ナリ

近思錄句解卷十一之二

ト云ノ傳ナリ。大率ハオホム子ナリ。ソレ人ノ動作必道理ニシタカフベシ心
動イテ理ノ正キヲ失フヲ七情ニミナコレアリトイヘ。中ニ就テヨロコビ
子ガフコヲ以テ動ク時ハ心ヲオホラシ行ヲ亂ル
「最大イナリ。何ゾ其正所ヲ失ハザルコトアラシヤ」

男女有尊卑之序夫婦有倡隨之理此常

理也コレモ亦上章ト同ジ傳ナリ。男女ノ間男ハ尊ク女ハ卑キ序ナリ。夫婦ノ道必夫倡ヒテ婦コレニ隨フ理アリ。コレ皆天理ノ常ナル所

若徇情肆欲唯說是動男牽欲而失其

剛婦扭說而忘其順則凶而無所利矣男女

三十情欲ニシタカヒホレイマ、ニメ。只悦ビニノ三動キイテ男ハ欲ニヒカ
レテ剛陽ノ徳ヲ失ヒ女ハ悦ニトレテ順從ノ道ヲ忘ル、時ハユクトメ凶ナ
ラスト云フナシ。何
ノ利キ所アラシヤ。

雖舜之聖且畏巧言令色說之感人易入

而可懼也如此虞書ニ畏巧言令色ト云ハ堯ノ事ヲ稱メナリ。コ
コニ舜トアルハ轉寫ノ誤ナル歟。巧言令色トハ

詔ヲ巧シ色ヲ令メ人ヲ悦バシムル者ヲ云堯舜ノ大聖ヲ以テタモナラコレ
ヲ畏シモフ時ハ悦ノ人ヲ感スノ心ニ入りヤスクメ惧ルベキコトカクノ如
シト知ル
ベキナリ

治水天下之大任也水道ヲ治ルコト天下
ノ大イナル職任ナリ。非其至

公之心能捨己從人盡天下之議則不能

成其功ソノ至リテ公ナル心ヲ以テヨク己ガ思ハクヲワスレテ人ノ
ヨキ所ニ從ヒ天下ノ議論ヲツクシテハカリ定ムルニアラザ

豈方命圮族者所能乎族ハ類ナリ。コレ離
ノ父餘ノコト云。鯀

水ヲ治メシ時自ソノ才智ヲタノミテ上ノ命令ニモサカフ所アリ又ソノ
朋類ノ心ヲモヤアリソコナヒケルニヨリテ其功ツイニ成ラザリシナリ
蘇維九年而功弗成然其所治固非他人
所及也惟其功有叙故其自任益強弗戾
圯類益甚公議隔而人心離矣是其惡益
顯而功卒不可成也
其功有叙トハホゞ其功ヲ成セル次第
見エタルゾ自任ストハ自ソノ才智ヲ
以テ事ヲ任スルナリ公議隔而人心離ルトハ公論ノ是非ヘダハリテキコエ
ズ衆人ノ心ソムキハナレテクミスル者ナカリシナリ不可成トハナレガタ
カリ
シブ

○
君子敬以直内易坤ノ文言ナリ 微生高所枉雖義ハ前ニ見エタリ

○
小而害則大微生高ガ事論語ニ出タリ或人來リテ醢ヲ乞ケルニ

○
人有慾則無剛剛則不屈於慾孔門ノ申張ヲ剛ナ

○
人之過也各於其類君子常失於厚小人

常失於薄君子過於愛小人傷於忍本文亦論語ニ出タ

リ。類トハ凡フ仁ナルハ君子ノ類ナリ。凡フ不仁ナルハ小人ノ類ナリ。蓋シ君子小人ノ仁不仁。平生ノ行事ニアラハル、ノミナラズ。ソノ過アル、フキアモ。厚薄愛忍。ソノノ、其類ニツレテ見ユルトナリ。忍トハムゴキ義ナリ。

明道先生曰富貴驕人固不善學問驕人

害亦不細學ハモト已ヲ成サンガタメバカリナリ。モレソノ學ノ長ノ意アルノミナラズ。又傲慢ニノ其德ヲソコナ

也。其學ブ所モ自滿ルニヨリテス、マザルナリ。

人以料事為明便駸駸入逆詐億不信去

也。コレ論語ニ。不逆詐。不億。不信。抑先覺者其賢乎トアルニツキテイヘリ。不信トハ人ノ已ヲ疑フヲ云。人已ヲ欺クカト。サキダチテムカヘマツ

モナク人己ヲ疑フカト。サキダチテオモコハカルヲモナクテ。自然ニ人コトイツハリヲ。マツサトル者ハ賢ナリ。即コレ真ノ明ナリ。モレ只事ニサキダチテ。ムカハハカルヲ以テ。自コレヲ明ナリト思フ時ハ。即駸々トノ詐ヲムカヘ。不信ヲオモンバカルノ流ニ。ハセ入ルナリ。駸々トハ馬ノトクハスル鬼ナリ。蓋シ人只ハカノテ察スルノミハ。イマダ必シモ其實ヲハカリ得ズ。反テ惑ヒ疑フヲ多シ。コレ即不明ノ類ニ。明ニアラサルナリ。

人於外物奉身者事事要好只有自家一

箇身與心却不要好人ノ身ヲ奉養スル者ハ。衣服飲食住居器用ノ類ナリ。コレハミナ此身ノ外ノ

物ナルニ。事々ソノヨカラシムトム。人ノ大イナリトスル所ハ。只ワガ一ツノ身ト心トアルノミナルニ。コンハ却テ其ヨカラシムトメガルナリ。

自家只己。苟得外面物好時却不知道自家

身與心却已先不好了也知道トハ。只シルト云義ナリ。モレ外ハキノ物ヲヨクメ。ヨ

近思錄司馬文正公集卷之十一

クレ得ル時ハ。ソノ欲ヲミテ、徳ヲワスル、久キニヨリテ。其間ニ却テステニワカ身心ヲヨカラスナレヲハレリ。然ルニ人コレヲサトラサレナリ。

人於天理昏者。是只為嗜欲亂着。他心ニスキ

コノム欲ナリ。ソレ人心ノ天理ハ本然ノ徳ナリトイヘ。人欲ソノ形氣ノ私ヨリ生カ。コレト勝負ヲ相ナス。ソノ天理ノ昏クメ。明ナラザルハ。人欲コレヲ

亂ルカタメナリ。莊子言其嗜欲深者。其天機淺。着ハツケ字ナリ。

此言却最是。天機ハ天理ナリ。深く淺シトハ。消長ノ義ナリ。カレテ分消スルナリ。此言最ヨシ人ヲ戒ムルニタレリ。

伊川先生曰。閱機事之久。機心必生。子ニ有機

械者。必有機事。有機事者。必有機心。ト云ニヨリ。テイヘリ。機械トハ。タヨリヨクタクミニアヤドリタル器ヲ云。コレヲ用レバ。機事ナリ。コレヲ用ル者ハ。機心

ナリ。程子ノ機事ト云ハ。必シモ機械ヲ用ルニカギラス。凡ソテダテヲ巧ニスルヲ云ナリ。人ノ機事ヲ行フヲ見ル。久シケレバ。機心必ワカ内ヨリ生。亦テダテヲ巧ニ

フハ。好ムナリ。蓋方其閱時。心必喜。既喜。則如

種下種子。機事ヲ見ル時ニアタリテ。心ニ必オモレロシト喜ブ所ア

發生ス。蓋シ誠心ヲ以テ。理ノ是ヲ求メテ。コレヲ行ヒ。其事ノ成ルト。敗ルハト

ヲハカラザルハ。君子正大光明ノ心術ナリ。機心ヲ以テ。機事ヲ行ハ。ミナ小人

ノ邪智ニメ。ソノ得ル所ハ幸ナリ。ハカリガタキテダテヲ好ム者ハ。亦ハカラザル禍ニアフ。多キ者ナリ。

疑病者。未有事至時。先有疑端。在心。疑多キク

セアル。事イマダ至ラザル時ヨリ。心ノ内ニ。マヅ疑ヒノ端アル。故ニ事至ルニ及ンテ。疑アマヒキヲモ。妄ニ疑フナリ。周羅事

者。先有周事之端。在心。周羅事トハ。己ニアツカラザル事ヲ。マトヒヨセテ。トリアツカフ

ヲ好ムナリ。句義ハ皆病也。ニツノ。心ノ内ニ其端ツ子ニ存在シ。事ニ上ノ段ニヲナジ。フレテ發生スルヲ以テ。皆コレヲ病ト云。コレヲ治スルノカ。ノノ病根ノ端ヲ克チ去クニアリ。

較事大小其弊為枉尺直尋之病。孟子ノ語。尺ハ一尺。尋ハ八尺ナリ。人尺事ノ上ノミニツキテ。大小ヲタクラベ。大ヲツトメテ。小ヲカロニスル時ハ。尋ヲノベンガタメニ。尺ヲ枉ルヲモ。時ノ權宜トメ。コレヲスル病ツクニヨリテ。フノ流レノ弊云ニタヘザル。一アルニ至ルナリ。蓋シ事ニハ大小アレ。理ニハ大小ナシ。人ヨク敬ヲ至トスル時ハ。天堯ツ子ニクラカラス。事ノ大小緩急ヲ見テ。コレニ應スル所。アタラズト云フナシ。

小人小丈夫不合小了。他本不是惡。小及トハ。二對ノ云。小丈夫ハ大丈夫ニ對ノ。度量ノ小キナル者ヲ云ナリ。此章教ヲ至トル者ニツキテ云。小人小丈夫トイフ。只小キナリトメ。ステヲハルベカラス。其性ハ本ミナ善ニ。惡ナラズ。只氣稟習俗ニヨリチ。カクノ如クナレバ。教化ヲナスベキ機會ナクハアルマ。ジキゾ。モシ一方向ニフリステ。カヘリミス。不仁ニオチイルノ失アルベシ。ヨリテ亦コレヲ以テ君子ヲイシム。

雖公天下事若用私意為之便是私。此章云意ル者。必心ヲ正ク誠ニスルヲ以テ本トスベシ。人ヲ論スル者。必其心ヲ察セヨ。タビニ其スル事ノ公私ノミヲ考ヘテ。コレヲ定メザレトナリ。

做官奪人志。做官トハ仕ヘテ官職ヲ任スルヲ云。學者出仕ル時。ハ職事ノムツカレキ處ニタイテハ。時ノ勢ニセマリ。世ノナラハシニマカレテ。志ヲマケヤスシ。カクノ如キノ類。ミナ仕官ノタメニ。志ヲムバハル。處ナリ。然レバ道ノタメニ仕ル者。事ニアタリテハ。得失死生ヲカヘリミズ。只志ヲ直クノ行フベシ。トカクニ志ノ行ハルマ。ジキヲ見ル時ハ。官ヲ辭メ去ルヨリ外ノ道ナカルベシ。

○ 驕是氣盈吝是氣歉ハ。氣ノアキタラザル病ナリ。驕ルト吝ナルトハ。世ノツ子ノ通病ナリ。驕ルハ氣ノミチアミレル病吝ナル

○ 人若吝時於財上亦不足於事上ハ。氣ノアキタラザル病ナリ。人若吝時於財上亦不足於事上

○ 亦不足凡百事皆不足必有歉歉之色也ハ。氣ノアキタラザル病ナリ。亦不足凡百事皆不足必有歉歉之色也

○ コレ吝ナル病一方向トケリ。人吝ナル者ハ。用ル所ノ財ノ上ニライテモ。行ハル、所ノ事ノ上ニライテモ。ヨロツ心ニマカセズ。足ラザル時ノミナラズ。諸事ステニ足レリトイヘ。ナラ心ニハ足レリトセズ。ツ子ニ食腹ニアカズ。衣身ニソナハラザルガ如クニ。歎々タル顔色アリ。君子ハ道ニ志シテ。氣一役セラレス。外物ハ只遇フ所ノアルニマカセテ。心ノカ、ヅラヒトナラザル故ニ。氣ノ盈ル時モナク。足ラザル時モナキナリ。

○ 未知道者如醉人。方其醉時無所不至及ハ。氣ノアキタラザル病ナリ。未知道者如醉人。方其醉時無所不至及

○ 其醒也莫不愧恥ハ。氣ノアキタラザル病ナリ。其醒也莫不愧恥

○ 人之未知學者自視以為無ハ。氣ノアキタラザル病ナリ。人之未知學者自視以為無

○ 缺及既知學反思前日所為則駭且懼矣ハ。氣ノアキタラザル病ナリ。缺及既知學反思前日所為則駭且懼矣

○ 自視以為無缺トハ。自ワカ身ヲカハ。氣ノアキタラザル病ナリ。自視以為無缺トハ。自ワカ身ヲカ

○ 刑七云一日三點檢ハ。氣ノアキタラザル病ナリ。刑七云一日三點檢

○ 明道先生曰可哀也哉其餘時理ハ。氣ノアキタラザル病ナリ。明道先生曰可哀也哉其餘時理

○ 會甚事蓋倣三省之說錯了可見不曾用ハ。氣ノアキタラザル病ナリ。會甚事蓋倣三省之說錯了可見不曾用

○ 功ハ。氣ノアキタラザル病ナリ。功

○ 可哀也哉トハ。刑恕ガ學ヲスル方ヲ知ラザルヲナケキナリ。此、理會ハ。氣ノアキタラザル病ナリ。可哀也哉トハ。刑恕ガ學ヲスル方ヲ知ラザルヲナケキナリ。此、理會

○ 二只三夕ビ點檢セハ。ソノ餘ノ時ハ。又何事ヲカエ夫トスルヤ。論語ニ曾子曰ハ。氣ノアキタラザル病ナリ。二只三夕ビ點檢セハ。ソノ餘ノ時ハ。又何事ヲカエ夫トスルヤ。論語ニ曾子曰

近思錄同解卷上之二

ルト云フヲ。邢恕蓋此。此説ニ倣ヒテ誤レリ。然レバソノ
カツテ實ニニキヲ用ヒ試ミザルヲ。コレニ見エタリト。 又多逐人

面上説一般話。一般ハ一槩ノ義ナリ。語ナリ。邢恕又往々數
人ト對スル時ニ。人々ノ面ニシタガヒテ。皆一様

ノ話ヲ。明道責之。何ゾ無用ノ話ヲ。邢云無可説。外ニ
トリ。明道責之。説ト責メ戒シム。

公別ニトク。明道曰無可説便不得不説。外意ハ説
ベキ話ナレト。

クハトカスノアルベキニナラ面々ニトクノカクノ如クナルハ。コレトクベ
キニハアラス。即コレトカザルヲ得スト云者ゾト。今此處ヲ講スル者。多

クハ。説クベキナクハ。便説カザルヲ得
得ザルカサヨミ來ル。恐ラクハ非ナラン。

横渠先生曰學者捨禮義則飽食終日無
所猷爲與下民一致所事不踰衣食之間

トク。下民トハ。下等ノ人ヲ云。一致トハ。オモムキノ同ジ
ク。燕遊トハ。ヒマニテ遊ブナリ。凡ソ學者ニ貴ブ

ベキ所ハ。平生礼義ヲ以テ。己ヲ持テ。事ヲ處スルニアリ。モレコ
ル時ハ。只食ニ飽キ。日ヲクラレテ。己ヲ修メ。人ヲ治ル事ニ。一ツモ、カリナス

所ナク。其オモムキ。凡ソノ人ト一様ニ。異ナル所ナシ。其事ト
スル所ハ。只衣服飲食ノ間。燕閑遊戯ノ樂ヨリ外ニ。出ルナレト。

鄭衛之音悲哀令人意思留連又生怠惰
之意從而致驕淫之心

鄭衛之音トハ。古鄭衛二國ノ詩歌
音樂。淫靡ナリ。レニヨリテ。後世ニ

テモ。スベテ淫聲ヲ稱ス。鄭衛ノ音ト云ナリ。留連トハ。アクビ入リテ。カヘル
ヲ忘ル。義ナリ。蓋シ淫樂ノ音。悲クアハレナル故ニ。人ヲノ思ヒシタヒナリ。

本ニカヘルヲワスレシム。又事ノツトメニ食
ル意ヲ生ジ。コレニツレテ。驕リ淫ル。心ヲ致ス。雖珍玩奇貨其

始感入也亦不如是切從而生無限嗜好

カク。初メ感入スル。亦不如是切從ニシテ。生スル無限ノ嗜好ナリ。

故孔子曰必放之亦是聖人經歷過但聖人能不為物所移耳

類云。經歷ハ皆フルナリ。珍玩奇貨モ人ヲ惑ハス者ナリトイヘド其始ハ亦
濫聲ノ如クニ切ナラス。サレド人コレヲ好ム時ハ則コレニツレテ限ナキ好
ミゴトヲ生ズ。况ヤ濫聲ニツレテ出来ル僻ガ事ヲヤ。コノ故ニ。顔子固ヲ治ル
道ヲ問ケレバ。夫子虞夏商周四代ノ礼樂ヲクミハカリテ答ヘサセ玉フ上ニ
又必鄭聲ヲ放チステ。佞人ニ遠ザカレトノ玉フ。ソノ政道ヲ害スルヲ。佞人ト
同ク甚キヲ以テナリ。此亦コレ聖人自ソノ言ヲ經ワタリテ。コノ口ニ玉フ故
ナルベシ。然レト聖人ノ徳ハヨク物ノ移サレトナラザルナリ。

孟子言及經特於鄉原之後者以鄉原大者不先立心中初無作惟是左右看順人

情不欲違一生如此

郷原トハ。一知ノ俗皆コレヲ思ニ怒アル人トシテソレリトガムベキ所ナキ
者ヲ云。コレ中道ニマギレ者ニノ尤ヨク人ヲ惑ハシ徳ヲ害フ故ニ。聖人コレ
ヲ徳ノ賊ナリト。甚ニクミテ孟子コノ郷原ノ害ヲトキテノ後トリワ
キ君子經ニ反ルベキヲイヘリ。イカントナレバ人ノ身ノ大イナル者ハ心
ナリ。然ルニ郷原マツワガ心ヲオシテ左ルヲサズ。心中是非ヲサダメズノ。初
コリワレ一分ノ所作ナシ。只コレ左右ヲ見ハ。此時ノ人情ニ違ハマク欲セ
ズメ。タレニモヨキ人トイハレシノミヲ求メ。一生カクノ如クニ人コレ
ニアガムカレテ悦ビシタカフ者。多キヲ以テナリ。此時君子タル人衆人ニ又
キンテ常道ニ反リテ。教ヲ立ル時ハ是非善惡ノ
定論アリテ。郷原人ヲマドハス。アタハザルナリ。

一行ア
ワツ

